

283
20

山口高等学校一覽

自昭和十五年
至昭和十六年



0051331001

0051331-001

283-20

山口高等学校一覽

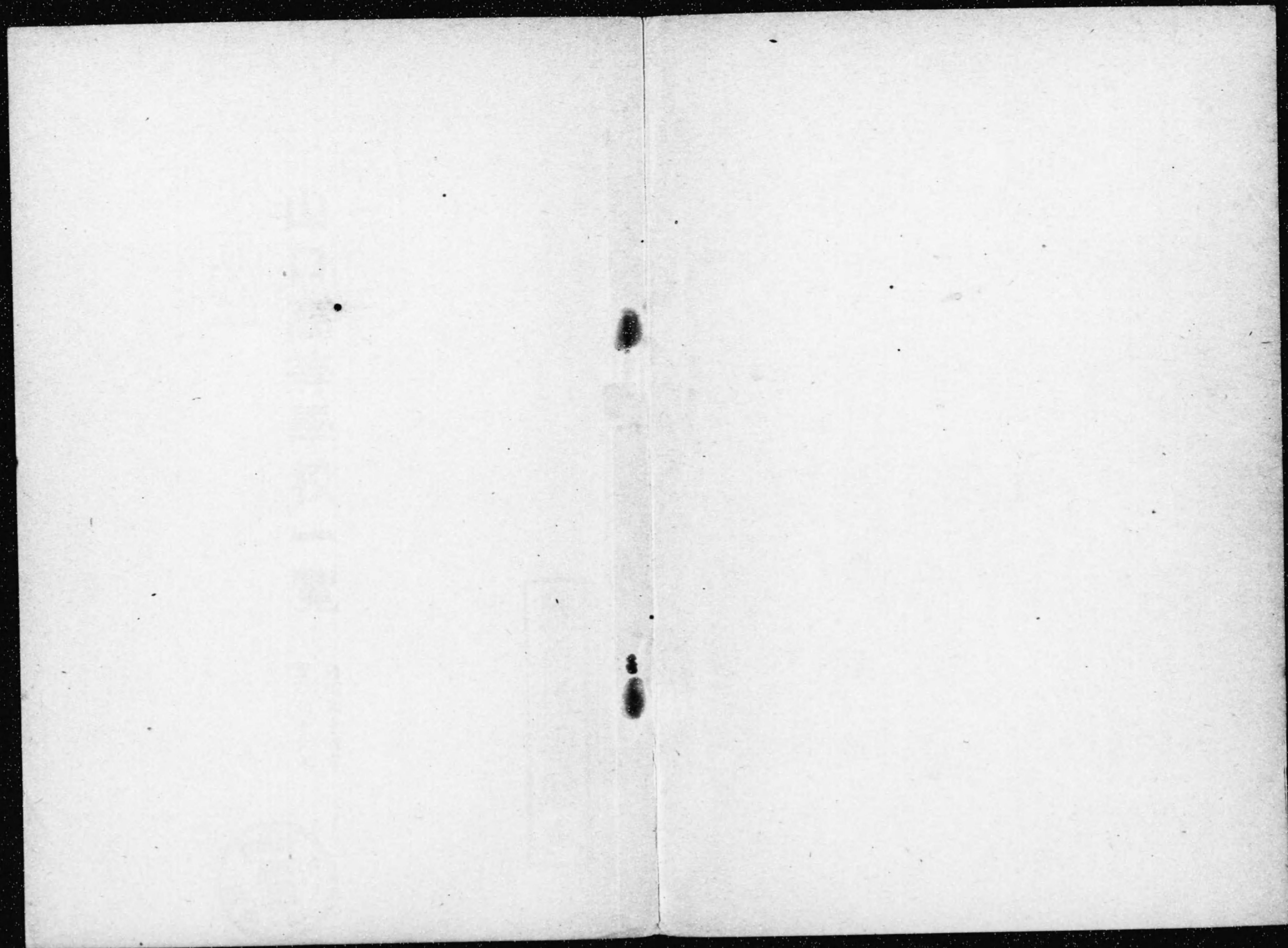
山口高等学校・編

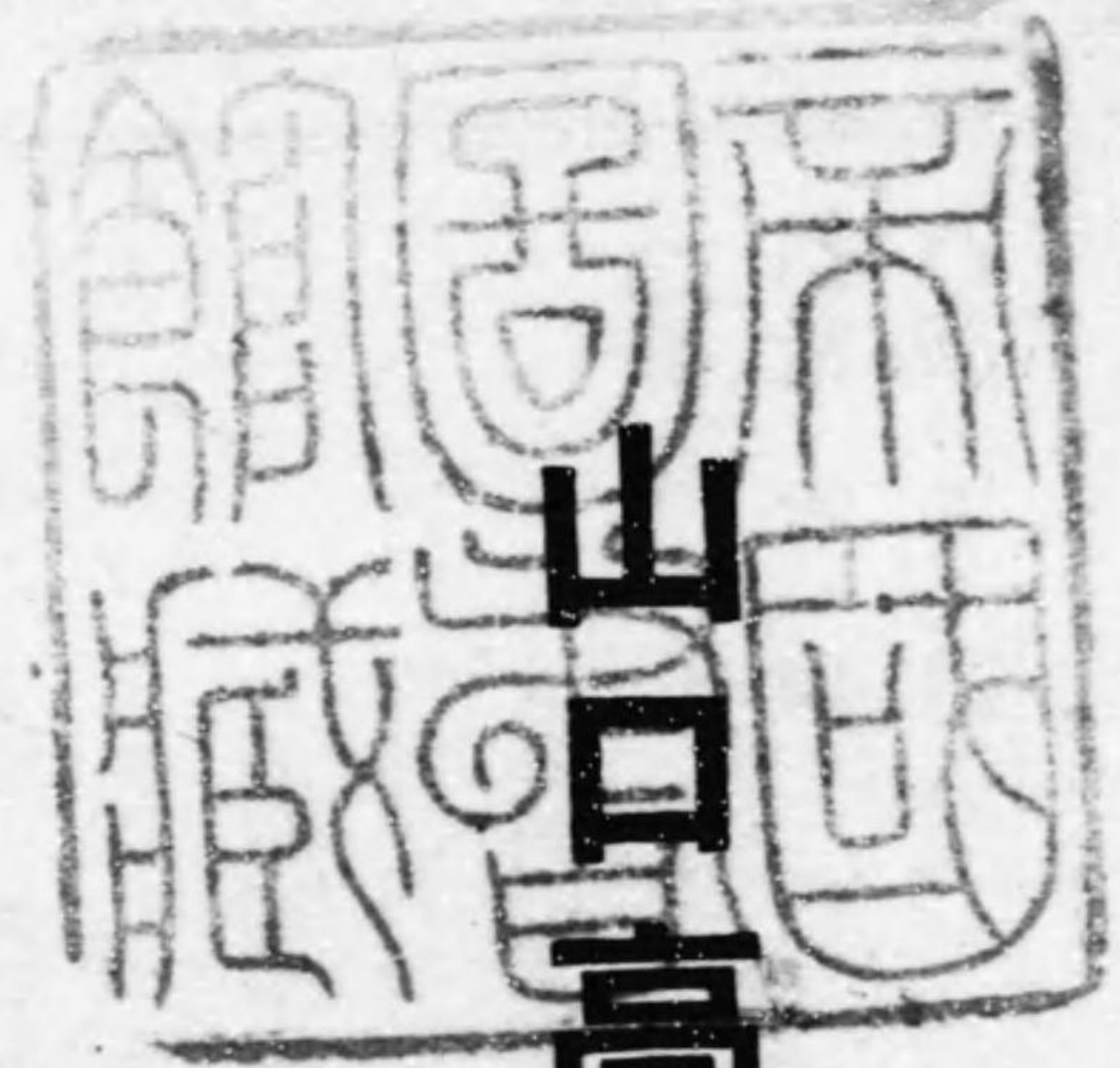
山口高等学校

昭和15至16年—昭和19至20

昭和15-19

AHM





山口高等學校一覽

自昭和十五年
至昭和十六年

發行所寄贈本



山口高等學校一覽

自昭和十五年
至昭和十六年

目次

○學年曆	一
○沿革略	九
○關係法令	九
一 文部省直轄諸學校官制(抄)	〇
二 文部省直轄諸學校職員定員令(抄)	〇
三 文部省直轄諸學校長職務規程	〇
四 文部省直轄諸學校備外國人ニ關スル規程	一
五 學校及圖書館特別會計法(抄)	二
六 高等學校令(抄)	三
七 高等學校規程(抄)	五

目次



八	山口高等學校設置授業開始(抄).....	二八
九	高等學校高等科入學資格試驗規程.....	二八
十	專門學校入學者檢定規程.....	二九
十一	文部省直轄學校生徒ノ學校長許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無効ニ關スル規程.....	三三
十二	高等學校高等科學力檢定規程.....	三三
十三	教員檢定ニ關スル規定(抄).....	三四
十四	教員無試驗檢定リ關スル指定學校名及學科目.....	三五
○學則		三七
第一章	總則.....	三七
第二章	學年、學期及休業.....	三七
第三章	學科課程及教授時數.....	三八
第四章	課程ノ修了及卒業.....	四二
第五章	入學、退學、休學、除名及懲戒.....	四四
第六章	入學料及授業料.....	四八
第七章	學寮.....	五〇

○生徒心得		五四
○細則		五五
一	學則施行細則.....	五五
第一章	學科及授業.....	五五
第二章	在學及通學.....	五五
第三章	成績考查試驗.....	五六
第四章	學級總代.....	六二
第五章	服裝.....	六二
第六章	學寮.....	六四
二	生徒心得細則.....	六六
三	校務分掌規程.....	六七
第一章	教育事務.....	六八
第二章	分課事務.....	七〇
四	會議規程.....	七六
五	圖書ニ關スル規程.....	七七

六	物品會計規程細則	七九
七	御眞影竝勅語讀本奉護規程	八三
八	職員服務規程	八四
	第一章 職員ノ服務	八四
	第二章 當直員ノ服務	八六
九	文書處理規程	八八
十	文書編纂保存規程	九〇
十一	非常警備規程	九九
○職	員	一〇五
○前	職員	一一五
○生徒及卒業者		一二四
一	生徒 氏名	一二四
二	生徒學年別人員表	一三九
三	生徒及卒業者本籍別人員表	一三九
四	昭和十四年入學者學歷別人員表	一四三

五	在學中死亡者表	一四三
六	卒業者 氏名	一四七
七	卒業者進入大學別人員表	二〇八
○敷地及建物		二一一
○附	錄	
	國民精神總動員山口高等學校實行委員會規程	二二二
	山口高等學校校友會規則	二二四
	校友會 役員	二二一
	山口高等學校同窓會規約竝同會役員	二二三
	山口高等學校共濟會規則	二二五
	共濟會 役員	二三〇
	舊山口高等學校卒業者名簿	一

○學年曆

昭和十五年

四月一日	四月十一日	四月十二日	四月二十九日	七月三日	七月四日	七月五日	七月十日	七月十一日	八月三十一日	九月一日	九月五日
(月)	(木)	(金)	(月)	(水)	(木)	(金)	(水)	(木)	(土)	(日)	(木)

第一學期開始
 第一學年入學式
 第一學期授業開始
 天長節拜賀式
 第一學期授業終結
 自習日
 學期試驗開始
 學期試驗終結
 夏季休業開始
 第一學期終結
 第二學期開始
 夏季休業終結

學年曆

九月六日	(金)	第二學期授業開始
九月二十四日	(火)	秋季皇靈祭
十月十六日	(水)	創立記念日
十月十七日	(木)	神嘗祭
十月三十日	(水)	教育勅語捧讀式
十一月三日	(日)	明治節拜賀式
十一月二十三日	(土)	新嘗祭
十二月十七日	(火)	第二學期授業終結
十二月十八日	(水)	自習日
十二月十九日	(木)	學期試驗開始
十二月二十四日	(火)	學期試驗終結
十二月二十五日	(水)	大正天皇祭 冬季休業開始
十二月三十一日	(火)	第二學期終結
昭和十六年 一月一日	(水)	第三學期開始 新年拜賀式

一月七日	(火)	冬季休業終結
一月八日	(水)	第三學期授業開始
二月十一日	(水)	紀元節拜賀式
二月二十四日	(火)	第三學年第三學期授業終結
二月二十五日	(水)	第三學年自習日
二月二十六日	(木)	第三學年試驗開始
三月二日	(火)	第三學年試驗終結
同	(同)	第一、第二學年第三學期授業終結
同	(同)	卒業生送別式
三月四日	(水)	自習日
三月五日	(木)	第一、第二學年試驗開始
三月十日	(火)	第一、第二學年試驗終結
三月十一日	(水)	春季休業開始
三月三十一日	(火)	第三學期終結 學年終結

○沿革略

山口縣ニ於ケル高等教育ノ沿革ヲ繹ヌルニ明治初年山口藩主毛利氏舊藩校ヲ改メテ山口中學トナシ十七年二月高等科ヲ併置シタリ是レ蓋シ縣内ニ於ケル高等教育ノ濫觴ナリ後政府高等中學校ノ制ヲ布クニ當リ防長教育會ノ請ヲ納レ十九年十一月高等科ヲ改メテ山口高等中學校トナシ文部省直轄トナス而シテ經費ノ支出ハ防長教育會之ニ當ル明治二十七年高等學校令ノ公布セララルヤ更ニ山口高等學校トナシ三十二年ニ至リ國庫ノ補助ヲ受ク明治三十八年二月山口高等商業學校ト改メラル、(其ノ山口高等中學校ト稱セラレシヨリ實ニ十九年卒業生ヲ出スコト八百七十三人參考ノ爲卷末ニ名簿ヲ附ス)茲ニ於テ地方有爲ノ青年ニシテ大學進入ノ志ヲ抱クモノ悉ク其ノ便ヲ失フ先輩有志深ク之ヲ憾ミトシ屢々政府ニ請願シテ其ノ復興ヲ圖ル大正七年偶々政府高等教育機關擴張ノ議アリ茲ニ於テ山口縣ハ毛利家一族、防長教育會、藤田兩家、久原家ヨリ金五十萬圓並ニ山口町ヨリ敷地壹萬九千九百餘坪ノ寄附ヲ受ケ以テ之ヲ政府ニ寄附シテ當地ニ高等學校ヲ設置セラレンコトヲ請願ス政府之ヲ納レ茲ニ本校ノ設立ヲ見ルニ至レリ其ノ設置以來ノ沿革次ノ如シ

大正八年 四月勅令第百十二號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ニ改正ヲ施シ本校ヲ設置セラレ勅令第百十三號ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ校長一人教授十六人書記三人ト定メラル、同月公立中學校校長

兼公立中學校教諭新保寅次山口高等學校教授ニ任シ校長事務取扱ヲ命セラル、同月文部省令第十
三號ヲ以テ本校ノ位置ヲ山口縣吉敷郡山口町ニ定メラル、同月事務所ヲ文部省内ニ置ク、六月事
務所ヲ山口縣立山口中學校内本校假校舎内ニ移ス、七月生徒百六十人ノ入學ヲ許可ス、九月授業
ヲ開始ス同月山口縣吉敷郡山口町下堅小路外參簡所ニ於ケル民家ヲ本校學寮ニ代用ス、十月四日
教育ニ關スル 勅語謄本ヲ拜戴ス

大正九年 六月勅令第八十號ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ教授二十人助教一人書記四人ニ改メラル
同月本校教授新保寅次山口高等學校長兼教授ニ任セラル、同月山口縣吉敷郡山口町太刀賣ノ代用
學寮ヲ廢ス、七月生徒百五十八人ノ入學ヲ許可ス、八月山口縣吉敷郡山口町大字上宇野令ノ新校
舎ニ移轉ス、同月生徒百十七人ヲ本校構内ノ新築學寮ニ收容ス、十月五日 天皇陛下 皇后陛下
ノ御眞影ヲ拜戴ス、同月十五日 閑院宮載仁親王殿下 同妃智惠子殿下本校ニ台臨アラセラレ校
長新保寅次本校沿革及現狀ノ概略ヲ言上シ學校要覽ヲ奉呈ス職員一同ニ謁ヲ賜ヒ校庭ニ「ヒマラ
ヤシード」ヲ御手植遊バサル

大正十年 三月勅令第五十號ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ教授二十五人助教四人書記五人ニ改メラル
同月生徒百四十四人ノ入學ヲ許可シ臺灣人二人、朝鮮人二人ノ特別入學ヲ許可ス、七月山口縣吉
敷郡山口町下堅小路及同町白石ニ設ケタル代用學寮ヲ廢ス、八月本校敷地ノ引渡ヲ受ク

大正十一年 三月生徒百二十九人ヲ卒業セシム即チ本校第一回卒業生タリ、同月生徒百四十九人ノ
入學ヲ許可シ又朝鮮人四人ノ特別入學ヲ許可ス、同月山口縣吉敷郡山口町荒高ニ設ケタル代用學
寮ヲ廢ス、同月本校建築工事ニ關スル既定事業ヲ完成ス、五月十六日本校落成式ヲ舉行シ文部大
臣代理トシテ文部省専門學務局長松浦鎮次郎臨場セラル、十二月本校建物竝工作物ノ引渡ヲ受ク
大正十二年 三月生徒百二十六人ヲ卒業セシム、同月生徒百三十四人ノ入學ヲ許可シ又臺灣人一人
朝鮮人六人ノ特別入學ヲ許可ス

大正十三年 三月生徒百三十四人ヲ卒業セシム、同月生徒百四十八人ノ入學及臺灣人一人、朝鮮人
四人ノ特別入學ヲ許可ス

大正十四年 三月生徒百二十人ヲ卒業セシム、同月生徒百五十五人ノ入學及朝鮮人七人ノ特別入學
ヲ許可ス、同月備外國人教師野田官舎落成ス、四月勅令第八十一號ヲ以テ本校助教ノ定員ヲ三
人ニ改メラル、同月勅令第三百三十五號ヲ以テ陸軍現役將校學校配屬令ヲ發布セラレ、同月二十四
日現役將校一名配屬セラル、六月勅令第二百十六號ヲ以テ本校書記ノ定員ヲ六名ニ改メラル、七
月新營ニ係ル備外國人教師官舎及工作物ノ引渡ヲ受ク

大正十五年 二月十五日 高松宮宣仁親王殿下本校ニ台臨アラセラル、三月生徒百四十四人ヲ卒業
セシム、四月生徒百五十一人ノ入學及臺灣人一人、朝鮮人八人ノ特別入學ヲ許可ス、五月創立記

念日ヲ十月十六日ニ改正ス、同月二十九日 皇太子殿下本校ニ行啓アラセラレ校長新保寅次教授
戸澤正保ニ單獨拜謁ヲ賜フ校長言上書ヲ奉呈ス、教官一同ニモ列立拜謁ヲ賜ヒ講堂ニ於テ生徒ヲ
親閲遊ハサレ圖書閱覽室ニ陳列ノ考古學資料ヲ台臨アラセラル、十一月新築中ナリシ木造平家建
物落成ス

昭和二年 一月維持資金ヲ以テ備外國人教師官舎敷地二百四坪六分五勺ヲ買收ス三月生徒百四十八
人ヲ卒業セシム、同月備外國人教師向山官舎落成ス、四月生徒百五十二人ノ入學及朝鮮人三人ノ
特別入學ヲ許可ス、五月二十九日 皇太子殿下行啓記念トシテ校庭ニ月桂樹ヲ植栽ス、六月新營
ニ係ル備外國人教師官舎及工作物ノ引渡ヲ受ク、八月 御眞影竝 勅語謄本奉護規程ヲ制定ス、
同月舊山口高等學校出身者本莊熊次郎、松崎壽三、吉田眞一、中丸一平、岩田宙造、川部孫四郎
諸氏ノ寄附ニ係ル木造平家建生徒集會所落成シタルヲ以テ之ヲ受領ス、同月勅令第三百六十五號
ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正助手ヲ置クコトヲ得ノ一項ヲ加ヘラレ勅令第三百六十六號ヲ
以テ文部省直轄諸學校職員令中改正本校助手ノ定員ヲ一人ト定メラル

昭和三年 三月生徒百四十九人ヲ卒業セシム、同月生徒百五十人ノ入學及朝鮮人四人ノ特別入學ヲ
許可ス、十月九日 天皇陛下 皇后陛下ノ御眞影ヲ拜戴ス、同月勅令第二百五十六號ヲ以テ文部
省直轄諸學校官制中『生徒監』ヲ『生徒主事』ニ改メ『書記』ノ次ニ『生徒主事補』ヲ加ヘラレ

勅令第二百五十七號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正、本校生徒主事及生徒主事補ノ定
員ヲ各一人ト定メラル、十一月十一日御即位大禮奉祝ノ式ヲ舉行ス、十二月御大典記念トシテ寮
生ノ寄附ニ係ル木造平家建寮生集會所ヲ受領ス、同月消防器具庫落成ス

昭和四年 三月生徒百三十三人ヲ卒業セシム、同月生徒百五十二人ノ入學及朝鮮人五人、臺灣人二
人ノ特別入學ヲ許可ス、七月二日岩田博藏本校校長ニ任セラレ、校長新保寅次松本高等學校長ニ
任セラレ、十月十六日本校創立十周年記念式ヲ舉行シ文部大臣代理トシテ文部省督學官野村禮讓
臨場セラル、十二月本校出身者並地方有志者ノ寄附ニ係ル鐵骨鐵網製野球用固定ネットヲ受領ス

昭和五年 三月生徒百五十三人ヲ卒業セシム、同月生徒百五十四人ノ入學ヲ許可ス、十月本校職員
生徒並卒業生及父兄縁故者ノ寄附ニ係ル前校長新保寅次ノ胸像ヲ受領ス、十一月岡山市岡山練兵
場ニ於テ岡山、廣島、山口三縣ノ諸團體ニ 天皇陛下ノ御親閲ヲ賜フ本校ヨリ校長及職員生徒ノ
代表二十八名參列ス、御親閲拜受章ヲ拜受ス、同月本校校友會ヨリ大弓場及射埒ヲ弓道場トシテ
寄附シタルヲ以テ之ヲ受領ス

昭和六年 二月五日曩ニ御下賜ノ 天皇陛下 皇后陛下ノ御眞影ヲ奉還シ新ニ 天皇陛下 皇后陛
下ノ御眞影ヲ拜戴ス、三月生徒百四十七人ヲ卒業セシム、同月生徒百五十一人ノ入學ヲ許可ス、
十一月渡邊祐策氏ノ寄附ニ係ル生徒體育用プール及プール用ポンプ室竝井戸ヲ受領ス

昭和七年 一月生徒食堂落成ス、三月生徒百三十七人ヲ卒業セシム、同月生徒百三十五人ノ入學ヲ許可ス、同月勅令第三百九十五號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正セラレ本校助教松岡「三人」ヲ「二人」ニ改メ助手ノ欄「一人」ヲ削除セラル

昭和八年 三月生徒百三十八人ヲ卒業セシム、同月生徒百四十一人ノ入學ヲ許可ス

昭和九年 三月生徒百二十七人ヲ卒業セシム、同月生徒百十六人ノ入學ヲ許可ス、五月縁故者ヨリ寄附ニ係ル舊山口高等學校長河内信朝ノ胸像ヲ受領ス

昭和十年 一月雨天體操場落成ス、三月生徒百三十八人ヲ卒業セシム、同月生徒百十一人ノ入學ヲ許可ス、同月應接室落成ス、四月四日弘前高等學校長中山文雄本校校長ニ任セラレ、校長岩田博藏依頼本官ヲ免ゼラル、六月寮生ノ寄附ニ係ル木造平家建卓球室ヲ受領ス

昭和十一年 三月生徒百三十八人卒業セシム 同月生徒百十六人ノ入學ヲ許可ス、十月二十九日本校本館（教室、事務室、教官室等七三七坪五六）火災ノ爲焼失ス、同火災ノ爲 御眞影並勅語謄本ヲ山口高等商業學校ニ春遷ス

昭和十二年 三月生徒百二人卒業セシム、同月生徒百九人ノ入學ヲ許可ス、六月復舊工事中ノ本校本館落成並新設物置竣工シ七月之カ引渡ヲ受ク

昭和十三年 三月生徒九十九人卒業セシム、同月生徒百十八人ノ入學ヲ許可ス、四月二十五日弘前高

等學校長安齋宏素本校校長ニ任セラレ、校長中山文雄依頼本官ヲ免セラル、十月十六日御眞影並勅語謄本ヲ本校ニ奉還ス

昭和十四年 三月生徒百九人卒業セシム、同月生徒百三十九人ノ入學ヲ許可ス、五月二十二日東京宮城前廣場ニ於テ陸軍現役將校學校配屬令公布十五年ニ當リ全國各學校代表ニ 天皇陛下ノ御親閱ヲ賜フ、本校ヨリ校長及職員生徒ノ代表十三名參列ス、御親閱拜受章ヲ拜受ス

八月十六日青少年學徒ニ賜ハリタル勅語謄本ヲ奉戴ス

昭和十五年 三月生徒九十七人ヲ卒業セシム、同月生徒百八十五人ノ入學ヲ許可ス、五月勅令第三百五十九號ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ教授二十六人助教三人ニ改メラル、五月二十九日教學局教學管藤本萬治本校校長ニ任セラレ校長安齋宏素浦和高等學校校長ニ任セラル

○關係法令

一 文部省直轄諸學校官制（抄）（明治二十六年八月勅令第八十六號）

第一條 文部省直轄學校ハ左ノ如シ

山口 高等學校（大正八年四月勅令第一百十二號ヲ以テ改正）

（他校略）

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長、教授、生徒主事、助教授、書記、生徒主事補

前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニ依リ事務官又ハ助手ヲ置クコトヲ得

第七條 校長ハ勅任又ハ奉任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條 教授ハ勅任又ハ奉任トス助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ奏任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒主事ハ校長ノ指揮ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

文部省直轄諸學校官制（抄）

第十條ノ二 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事補ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事補ハ判任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ判任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス
 生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク
 第十條ノ三 事務官ハ奉任トス校長ノ命ヲ承ケ庶務會計ヲ掌理ス
 第十條ノ四 助手ハ判任トス教授又ハ助教ノ指揮ヲ受ケ授業及實驗ノ補助ニ従事ス
 第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若ハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ教授ヲ擔任セシムルコトヲ得

二 文部省直轄諸學校職員定員令 (抄)

明治三十五年三月勅令第九十九號ヲ以テ制定、明治三十六年勅令第五十六號ヨリ昭和七年十二月勅令第三百九十五號昭和十五年五月勅令第三百五十九號マデ屢次改正

文部省直轄諸學校專任職員定員左ノ如シ

山口高等學校	校長	一人	教授	二十六人	生徒主事	一人	助教	三人	書記	六人	生徒主事補	一人
--------	----	----	----	------	------	----	----	----	----	----	-------	----

三 文部省直轄諸學校長職務規程

(大正二年六月文部省訓令、大正八年、九年號外ヲ以テ改正)

第一條 校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得
 第二條 校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得
 第三條 左ノ事項ハ校長之ヲ專行スヘシ但シ第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ
 第一 教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムルコト
 第二 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト
 第三 俸給月額八拾五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト
 第四 教官以下ノ内國各地出張ニ關スルコト
 第五 教官以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト
 第六 講師ノ解囑及其ノ報酬減額ニ關スルコト
 第七 經費中ノ目ヲ流用スルコト
 第八 三日以内ノ臨時休業ヲ爲スコト
 第四條 前條ニ掲ケタル事項ノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

四 文部省直轄諸學校傭外國人ニ關スル規定

(明治二十六年九月勅令第九十六號)

帝國大學及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長及直轄諸學校長ハ文部

大臣ノ許可ヲ受ケ備外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

五 學校及圖書館特別會計法(抄) (明治四十年三月法律第二十三號)

第一條 文部省直轄諸學校及帝國圖書館ハ之ヲ通シテ一ノ特別會計ヲ立テシメ資金ヲ所有シ政府ノ支出金、資金ヨリ生スル收入、授業料、寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ其ノ歳出ニ充テシム

第三條 學校及圖書館資金ハ政府ヨリ交付シ又ハ他ヨリ寄附シタル動産及不動産竝歳入殘餘ヨリ成ル但シ第八條施行豫算ノ歳入殘餘ニシテ資金ニ編入セラレタルモノハ學校及圖書館毎ニ區分シ之ヲ整理スヘシ

第五條 學校及圖書館ニ屬スル收入ヲ以テ其ノ歳出ヲ支辨シ別ニ政府支出金ヲ要セサルニ至リタルトキハ當該學校及圖書館ノ爲メニ特別會計ヲ設クルモノトス

第六條 教員事務員ノ俸給、諸給、旅費、器具、機械、圖書、標本費、授業費、試験費、生徒ニ關スル諸費、事務所費、修繕費、雜支出其ノ他寄附者ノ指定シタル費途ヲ以テ學校及圖書館特別會計ノ歳出トス

第七條 政府ハ毎年學校及圖書館特別會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第十條 寄附金ニシテ特ニ用途ヲ指定シタルモノハ其ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第十三條 學校及圖書館特別會計ノ收入支出ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

六 高等學校令(抄) (大正七年十二月勅令第三百八十九號)

第一條 高等學校ハ男子ノ高等普通教育ヲ完成スルヲ以テ目的トシ特ニ國民道德ノ充實ニカムヘキモノトス

第七條 高等學校ノ修業年限ハ七年トシ高等科三年尋常科四年トス

高等學校ハ高等科ノミヲ置クコトヲ得

第八條 高等學校高等科ヲ分チテ文科及理科トス

第九條 高等學校ニハ高等科ヲ卒リタル者ノ爲ニ專攻科ヲ置クコトヲ得其ノ修業年限ハ一年トス

專攻科ヲ卒リタルモノハ得業士ト稱スルコトヲ得

專攻科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條 高等學校ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ豫科ヲ置クコトヲ得但シ第七條第二項ノ高等學校ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

高等學校豫科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

- 第十二條 高等學校高等科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校尋常科ヲ修了シタル者中學校第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス
- 第十三條 高等學校ノ生徒定數ハ高等科四百八十人以内、尋常科三百二十人以内トシ第七條第二項ノ高等學校ニ在リテハ專攻科ヲ除キ六百人以上トス
- 第十四條 高等學校ニ於テハ同科同學年ノ生徒ヲ以テ學級ヲ編制スヘシ
- 一學級ノ生徒定數ハ四十人以上トス
- 第十五條 高等學校ニ於テハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ學科目ノ種類ニ從ヒ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得
- 第十六條 高等學校ノ教員ハ文部大臣ノ授與シタル高等學校教員免許狀ヲ有スル者タルコトヲ要ス但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
- 高等學校教員免許狀ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム
- 第十七條 高等學校ノ設備、編制、學科目及其ノ程度、教科書並生徒ノ入學、退學及懲戒、授業料入學料等ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

附 則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治二十七年勅令第七十五號高等學校令及高等中學校令ハ之ヲ廢止ス

高等學校規程（抄）（大正八年三月文部省令第八號）

第一章 學科課程及教科書

第二節 高等科

第四條 高等科文科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、歷史、地理、哲學概説、心理及論理、法制及經濟、數學、自然科學、體操トス

高等科理科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、數學、物理、化學、植物及動物、礦物及地質、心理、法制及經濟、圖書、體操トス

外國語ハ英語、獨語又ハ佛語トス

第二外國語ハ隨意科目トス

第五條 修身ハ教育ニ關スル勅語ノ趣旨ニ基キ道德上ノ思想及情操ヲ養成シ實踐躬行ヲ勸奨スルヲ以テ要旨トス

修身ハ道德ノ要領ヲ授ケ國家、社會、家族ニ對スル責務並人格修養ニ關シ必要ナル事項ヲ知ラシメ特ニ我國民道德ヲ會得シ其ノ實行ニ努メシムヘシ

- 第六條 國語及漢文ハ言語文章ヲ了解シ正確且自由ニ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ智徳ヲ啓發シ文學上ノ趣味ヲ養フヲ以テ要旨トス
- 國語及漢文ハ文科ニ在リテハ近世、近古及中古ノ國文ヲ授ケ進ミテ上古文ノ一般ニ及ホシ又普通ノ漢文ヲ講讀セシメ國語文法及國文學史ノ大要ヲ授ケ作文ニ習熟セシムヘシ
- 理科ニ在リテハ近世及近古ノ國文並普通ノ漢文ヲ授ケ作文ニ習熟セシムヘシ
- 第七條 外國語ハ英語、獨語又ハ佛語ヲ了解シ且之ニ依リテ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ兼テ智徳ノ増進ニ資スルヲ以テ要旨トス
- 外國語ハ發音、綴字、讀方、譯解、話方、作文、書取及文法ヲ授クヘシ
- 第八條 歴史ハ重要ナル古今ノ事蹟ヲ知ラシメ邦國ノ盛衰、文化ノ發達ヲ理會セシメ特ニ我國運發展ノ由來、國體ノ特異ナル所以ヲ明ニシ國民性格ノ養成ニ資スルヲ以テ要旨トス
- 歴史ハ日本歴史、東洋歴史及西洋歴史ヲ授クヘシ
- 第九條 地理ハ我國及主ナル世界各國ノ現狀ヲ知ラシムルヲ以テ要旨トス
- 地理ハ我國及諸外國ノ政治、經濟等ニ關スル地理上ノ智識ヲ授クヘシ
- 第十條 哲學概説ハ思想界ニ關スル智識ヲ與ヘ哲學ノ概念ヲ會得セシムルヲ以テ要旨トス
- 哲學概説ハ東洋及西洋ノ哲學宗教等ニ就キテ其ノ大要ヲ授クヘシ

- 第十一條 心理及論理ハ心意ニ關スル智識ヲ得シメ思考ヲ鍛鍊セシムルヲ以テ要旨トス
- 心理及論理ハ各種ノ精神作用、思考ノ原則及其ノ方法ノ概要ヲ授クヘシ
- 第十二條 數學ハ數理ヲ會得セシメ計算應用ニ熟セシメ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス
- 數學ハ文科ニ在リテハ數學諸論ノ大要ヲ授ケ理科ニ在リテハ代數、立體幾何、三角法、初等解析幾何、初等微積分及初等力學ヲ授クヘシ
- 第十三條 自然科學ハ天然物及自然ノ現象ニ關スル智識ヲ與ヘ其ノ法則ヲ理解セシムルヲ以テ要旨トス
- 自然科學ハ生物地質、物理、化學等ニ關スル主要ナル事項ヲ授クヘシ
- 第十四條 物理化學ハ自然ノ現象ニ關スル智識ヲ與ヘ其ノ法則ヲ理會セシメ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察工夫ノ力ヲ養フヲ以テ要旨トス
- 物理ハ力學、物性、音響、熱、光、磁氣、電氣ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ
- 化學ハ無機化學有機化學ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ
- 第十五條 植物及動物、礦物及地質ハ天然物ニ關スル智識ヲ與ヘ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス
- 植物及動物ハ生物ノ形態、生理、分類、進化ニ關スル智識ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

礦物及地質ハ礦物ノ產狀、性質、用途、地球ノ構成及其ノ變遷ニ關スル智識ヲ授ケ又便宜主要ナル實驗ヲ課スヘシ

第十六條 法制及經濟ハ法制及經濟ニ關スル事項ニ就キ國民生活ニ必要ナル智識ヲ得シムルヲ以テ要旨トス

法制及經濟ハ帝國憲法ノ大要及日常ノ生活ニ適切ナル法制上及經濟財政上ノ事項ヲ授クヘシ

第十七條 圖畫ハ形體ヲ正確且自由ニ畫クノ能力ヲ得シメ意匠ヲ練リ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

圖畫ハ自在畫、平面幾何畫、立體幾何畫ヲ授クヘシ

第十八條 體操ハ身體ヲ健全ニシ動作ヲ敏活ナラシメ剛健ノ精神ト規律ヲ守リ協同ヲ尙フノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

體操ハ教練及體操ヲ授クヘシ又劍道、柔道及弓道ヲ加フルコトヲ得

第十九條 文科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	學年		
	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
國語及漢文	六	五	五

學科目	學年		
	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語	九	八	八
第二外國語	(四)	(四)	(四)
歷史	三	五	四
地理	二		三
哲學概說		二	二
心理及論理		二	二
法制及經濟		二	二
數學	三		
自然科學	二	三	
體操	三	三	三
計	二九 (三三)	二九 (三三)	二八 (三三)

第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

第一外國語	一一	一〇	一〇
第二外國語	(三)	(三)	(三)
計	(三三)	(三三)	(三三)

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得
第二十條 理科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身		一	一	一
國語及漢文		四	二	六
第一外國語		八	六	六
第二外國語		(四)	(四)	(四)
數學		四	四	(二)四
物理學			三	三
化學			三	三
植物及動物		二	二	(講義)二 (實驗)二 (二)四

鐘物及地質	二		
心理		二	二
法制及經濟	二		(二)
圖畫	二	二	三
體操	三	三	三
計	(三三)	(三三)	(三三)

第三學年ノ數學(二)及圖畫(二)ト第三學年ノ植物及動物(講義)二實驗(二)トハ生徒ヲシテ其ノ一ヲ選擇セシムルモノトス
第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語		一〇	九	九
第二外國語		(三)	(三)	(三)
計		(三三)	(三三)	(三三)

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得

第三節 專攻科

第二十一條 專攻科ノ學科目ハ左ノ學科目中ヨリ便宜選擇シテ之ヲ定ムヘシ

國語、漢文、支那時文、外國語、史學、哲學、倫理學、社會學、法律學、政治學、經濟學、數學、物理學、化學、植物學、動物學、礦物學、地質學、天文學、氣象學、應用化學、機械工學、實業ニ關スル科目等

第四節 教授上ノ注意

第二十二條 高等學校ニ於テハ高等學校令第一條ノ趣旨ニ依リ生徒ヲ教育シ殊ニ國民道德ノ充實ニ關聯スル事項ハ何レノ學科目ニ於テモ常ニ留意シテ教授センコトヲ要ス

各學科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益センコトヲ要ス

第五節 教科書

第二十三條 高等學校ノ教科書ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ但シ文部大臣ノ檢定ヲ經タル中學校教科書ヲ尋常科ノ教科書トシテ使用スル場合ニ於テハ認可ヲ要セス

第二章 學年、教授日數及式日

第二十四條 學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテトス但シ九月一日ヨリ翌年八月三十一日マ

テト爲スコトヲ得

第二十五條 教授日數ハ尋常科ニ在リテハ每學年二百二十日以上高等科ニ在リテハ每學年二百日以

上專攻科ニ在リテハ百九十日以上トス但シ次條ノ場合ニ於テハ此ノ限ニアラス

試験及修學旅行ニ充ツル日數ハ前項ノ日數ニ算入セス

第二十六條 傳染病豫防ノ爲必要ナルトキ其ノ他非常變災アルトキハ臨時休業ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘ

シ

第三章 編 制

第二十八條 尋常科ニ於テ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得ル場合ニ關シテ

ハ中學校ニ關スル規程ヲ準用ス

高等科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除ク外學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第四章 設 備

第三十一條 高等學校ニ於テハ校地、校舍、體操場及校具ヲ備フヘシ

第三十二條 校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ且道德上及衛生上害ナキ所タルヘシ

第三十三條 校舍ニハ教室、事務室其ノ他必要ナル實驗室、圖書室、器械室、標本室等ヲ備フヘシ
校舍ハ教授上、管理上及衛生上適當ニシテ堅牢ナルコトヲ要ス

第三十四條 校具ハ教授上必要ナル圖書、機械、器具、標本、模型等トス

第三十五條 高等學校ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外左ノ表簿ヲ備フヘシ

- 一、學則、日課表及教科用圖書配當表
- 二、職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表
- 三、生徒學籍簿、出席簿、身體檢查ニ關スル表簿及入營延期又ハ徵兵猶豫ニ關スル書類
- 四、試驗ノ問題、答案及成績表
- 五、資産原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿及圖書、機械、器具、標本、模型ノ目錄、生徒學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學、轉學、退學ノ年月日及其ノ學年、卒業ノ年月日、入學試驗ノ有無、轉學退學ノ事由、徵兵事故、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第五章 入學、在學、休學、退學及懲戒

第三十八條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以内トス

第四十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ高等科ノ入學ニ關シ中學校第四學年ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

- 一、他ノ高等學校尋常科ヲ修了シタル者
- 二、高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者
- 三、專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者
- 四、文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者
- 五、文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

前項ノ資格試驗ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四十四條 當該高等學校尋常科ヲ修了シタル者以外ノ入學志願者ノ數高等科各科ニ入學セシムヘキ人員ニ超過スルトキハ入學前ニ於ケル學業成績ト中學校第四學年修了ノ程度ニ依リ行フ試驗ノ成績トヲ併セ考査シテ入學者ヲ選拔スヘシ但シ試驗ハ之ヲ行ハサルコトヲ得

前項ノ考査ノ外必要アリト認ムルトキハ入學志願者ニ對シテ人物考査ヲ行フコトヲ得

第四十五條 高等學校ニ於テハ入學志願者ニ對シテ身體檢查ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ限り入學セシムヘシ但シ當該學校ニ於テ豫科ヨリ尋常科ニ進入シ又ハ尋常科ヨリ高等科ニ進入スル者ニ關シ

テハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條 高等科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ第一學年ニ入學スル資格ヲ有シ且前各學年ノ課程ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

前項入學者ニ學力ハ當該學年ノ程度ニ於テ之ヲ檢定スヘシ

第四十七條 高等學校生徒ニシテ學籍ヲ失ヒタル者其ノ學籍ヲ失ヒタル時ヨリ二年以内ニ再入學ヲ志願シタルトキハ銓衡ノ上當該學年又ハ翌學年ノ學年ノ始ヨリ三十日以内ニ於テ同一學年以下ノ

學年ニ限り入學ヲ許可スルコトヲ得 (昭和十年九月三日文部省令第十九條ニ依リ改正)

第四十八條 高等學校生徒ニシテ他ノ高等學校ニ轉學ヲ志望スル者アルトキハ關係學校長ノ協議ニ依リ之ヲ許可スルコトヲ得

第五十條 高等學校尋常科各學年ノ課程又ハ全學科ノ修了ヲ認ムルニハ平素ノ學業成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ

高等學校高等科各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ但シ正當ノ事由アリテ試験ニ缺席シタル者ニ對シテハ平素ノ學業成績ノミヲ考查シテ之ヲ定ムルコトヲ得

試験ハ學校長ノ見込ニ依リ之ヲ行ハサルコトヲ得

第五十一條 學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得ス

第五十二條 學校長ハ高等學校高等科ヲ卒業シタル者ニハ卒業證、書專攻科ヲ卒リタル者ニハ得業證書ヲ、尋常科ヲ修了シタル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第五十三條 學校長ハ正當ノ事由アリト認メタルトキハ生徒ノ休學ヲ許可スヘシ

第五十四條 學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二、學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三、引續キ一年以上缺席シタル者

四、正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

五、出席常ナラサル者

第五十五條 生徒退學セントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十六條 學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第七章 豫科

第五十七條 高等學校ノ豫科ニ關シテハ中學校ノ豫科ニ關スル中學校令施行規則ノ規定ニ準用ス

第八章 雜 則

第五十八條 高等學校ノ學則中ニ規定スヘキ事項凡左ノ如シ

- 一、學年、學期及休業日ニ關スル事項
- 二、學科課程、教授時數ニ關スル事項
- 三、課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項
- 四、生徒ノ入學、退學、懲戒ニ關スル事項
- 五、授業料入學料等ニ關スル事項

八 山口高等學校設置授業開始(抄) (大正八年四月文部省令第十三號)

山口縣山口町ニ山口高等學校ヲ設置シ本年九月授業ヲ開始ス

九 高等學校高等科入學資格試驗規程

(大正八年三月文部省令第九號)
(改正大正十五年七號)
(改正昭和十年十五號)

第一條 高等學校規程第四十三條ノ高等學校高等科入學資格試驗ヲ受ケントスル者ハ年齡滿十六年以上ノ男子ニシテ身體健全品行方正且現ニ中學校ニ在學セサル者タルヘシ

第二條 高等學校高等科入學資格試驗ハ文部大臣ノ指定シタル中學校ニ於テ便宜之ヲ行フ

第三條 試驗ハ中學校第四學年マテノ學科目ニ就キ第四學年修了ノ程度ニ依リ之ヲ行フヘシ

但シ實業、音樂、作業科及體操ハ之ヲ除ク

第四條 專門學校入學者檢定規程第七條第二項又ハ大正七年文部省令第三號第六條第二項ニ依ル證明書ヲ有スル者ニシテ試驗ヲ出願シタルトキハ當該學科目ノ試驗ヲ免除ス專門學校入學者檢定規程第八條ニ依リ試驗ヲ免除セラルル者ニ付亦同シ

第五條 中學校ニ於テハ高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者ニ合格證書ヲ交付スヘシ

第六條 高等學校高等科入學資格試驗ノ問題答案及成績表ハ五年以上保存スヘシ

第七條 中學校ニ於テハ本令ノ試驗ニ付試驗手数料ヲ徵收スルコトヲ得

附 則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

十 專門學校入學者檢定規程

(大正十三年十月文部省令第二十二號)
(改正大正十四年三六號、昭和四年一號、十年一六號)

第一條 專門學校ノ本科ニ入學セントスル者ニシテ中學校若ハ修業年限四年以上ノ高等女學校ヲ卒

專門學校入學者檢定規程

業セサル者ハ本令ニ依リ學力ノ檢定ヲ受クヘシ

第二條 檢定ヲ分チテ試驗檢定及無試驗檢定トズ

第三條 試驗檢定ハ毎年少クトモ一回之ヲ行フ

試驗檢定ノ出願期限、試驗施行ノ期日及場所ハ豫メ官報ヲ以テ之ヲ告示ス

第四條 試驗檢定ノ學科目及其ノ程度ハ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校ノ各學科目及其ノ卒業程度トス但シ中學校ノ學科目中實業、音樂、作業科、體操及高等女學校ノ學科目中外國語、圖書、音樂、體操ハ之ヲ除ク

前項ノ中學校ノ學科目中國語漢文ハ國語、漢文ノ二科ニ、理科ハ博物、物理、化學ノ三科ニ分チテ檢定ヲ行フ

第五條 試驗檢定ヲ受ケントスル者ハ受験願書(第一號書式)(書式略)ニ左ノ書類ヲ添へ受験地ノ地方廳ヲ經由シ文部大臣ニ出願スヘシ

一、履歷書(第二號書式)(書式略)

二、戶籍抄本(出願前一年以内ニ交付ヲ受ケタルモノトス)

三、寫眞(手札形出願前六月以内ニ脱帽ニテ撮影シタルモノトシ臺紙裏面ニ撮影年月日、本籍氏名生年月日ヲ記載スヘシ)

四、第七條第二項ニ依ル證明書ノ寫又ハ大正七年文部省令第三號第六條第二項ニ依ル證明書ノ寫

五、第八條ノ資格ヲ證明スル書面

第六條 試驗檢定ヲ受ケントスル者ハ手数料トシテ金五圓ヲ納付スヘシ

第七條 試驗檢定ニ合格シタル者ニハ合格證書(第三號書式)(書式略)ヲ交付ス

試驗檢定ヲ受ケタル者ニシテ之ニ合格セサルモ受験學科目中合格點ヲ得タルモノアルトキハ其ノ證明書(第四號書式)(書式略)ヲ交付ス

前項ノ證明書ヲ有スル者ニシテ試驗檢定ヲ出願シタルトキハ當該學科目ノ試驗ヲ免除ス

前項ノ規程ハ大正七年文部省令第三號第六條第二項ニ依ル證明書ヲ有スル者ニ付之ヲ準用ス

第八條 試驗檢定ノ學科目中一科目又ハ數科目ニ就キ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト認ムル者ニ對シテハ當該學科目ノ試驗ヲ免除ス

第九條 合格證書ヲ有スル者其ノ氏名本籍ヲ變更シ又ハ合格證書ヲ亡失毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ合格證書ノ書換若ハ再交付ヲ文部大臣ニ出願スルコトヲ得

前項ニ依リ合格證書ノ書換若ハ再交付ヲ出願ズル者ハ手数料トシテ金壹圓ヲ納付スヘシ

第十條 試驗ニ關シ不正ノ行爲アリタル者ニ對シテハ其ノ試驗ヲ停止シ尙期間ヲ定メテ試驗ヲ受ケシメサルコトアルヘシ

大正七年文部省令第三號高等試驗令第七條及第八條ニ關スル件第八條ニ依リ試驗ヲ停止セラレタル者ハ其ノ停止セラレタル期間本令ノ試驗ヲ受クルコトヲ得ス
試驗ニ關シ不正ノ行爲アリタルコト後日發覺シタルトキハ既ニ交付シタル合格證書又ハ證明書ハ其ノ効力ヲ失フ

第十一條 無試驗檢定ハ當該專門學校ニ於テ入學ノ際之ヲ行フ

無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ル者ハ文部大臣ニ於テ專門學校入學ニ關シ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタル者ニ限ル

前項ノ指定ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條 本令ニ依リ納付スヘキ手数料ハ收入印紙ヲ用キ之ヲ願書ニ貼付スヘシ其ノ既ニ納メタル後ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ專門學校入學者試驗檢定施行ニ關スル手續ヲ開始シタルモノニ在リテハ當該試驗檢定ニ關シ仍從前ノ規程ニ依ル

附 則 (昭和十年文部省令第十六號)

本令ハ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

十一 文部省直轄學校生徒ノ學校長許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無効ニ關スル規程 (明治三十八年十月文部省令第十八號)

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試驗ヲ受ケタルトキハ其ノ入學試驗ハ無効トス

十二 高等學校高等科學力檢定期程 (大正十年十一月文部省訓令)

第一條 高等學校高等科學力檢定試驗ハ帝國大學學部又ハ官立大學ヨリ其ノ入學志願者ノ學力檢定

試驗施行ノ通告アリタル場合ニ限り高等學校ニ於テ施行ス

試驗ハ二月ニ於テ之ヲ施行ス

第二條 試驗ハ高等學校高等科卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フヘシ

高等學校高等科ニ入學スル資格ヲ有セサル者ニハ先ヅ中學校第四學年迄ノ學科目ニ就キ第四學年修了ノ程度ニ依ル學力檢定試驗ヲ行フヘシ但シ實業、音樂、作業科及體操ハ之ヲ除ク

第三條 試驗ヲ受ケントスル者ハ受験料五圓ヲ納ムヘシ

文部省直轄學校生徒ノ學校長許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無効ニ關スル規程
高等學校高等科學力檢定期程

既納ノ受験料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第四條 試験ニ合格シタル者ニハ左式ノ證明書ヲ交付スヘシ

校印	證明書	何	何年何月生	某
右ハ當校試験ノ成績ニ依リ高等學校高等科何科ノ卒業ト同等ノ學力アルコトヲ證明ス				
年 月 日				
某高等學校長位勤				
氏				
名印				

附 則

大學豫科學力檢定規程ハ之ヲ廢止ス

十三 教員檢定ニ關スル規程(抄) (明治四十一年十一月文部省令第三十二號)

第一條 教員檢定ハ受験者ノ學力、性行、身體ニ就キ之ヲ行フ

第三條 (前略) 無試験檢定ハ隨時之ヲ行フ

(第二項略)

第四條 檢定ヲ受ケントスル者ハ第一號書式(書式略)ノ願書ニ左ノ書類ヲ添ヘ(中略) 無試験檢定ニ在リテハ地方廳若ハ當該學校ヲ經由シテ文部大臣ニ出願スヘシ

一、第二號書式(書式略)ノ履歷書及受験資格ニ關スル學校卒業證書若ハ教員免許狀ノ寫

三、第七號書式(書式略)ノ學校醫ノ身體檢査書但シ學校醫ノ設置ナキ地ニ在リテハ醫師法ニ依ル醫師ノ身體檢査書ヲ以テスルモ妨ケナシ

地方長官又ハ當該學校長ハ本人ノ品行ニ就キ意見ヲ具申スルコトヲ要ス

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ文部大臣ノ適當ト認メタル學科目ニ關シ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得

一、文部大臣ノ指定シタル學校ノ卒業者及選科修了者

十四 教員無試験檢定ニ關スル指定學校名及學科目

(明治三十六年二月文部省告示第三十號)

學校	卒業	檢定	學科	目
修了	學科	學科	目	
高等學校	高等科文科	英語		

英語ヲ以テ入學シ主トシテ英語ヲ修メ其成績優等ナル者ニ限ル

教員檢定ニ關スル規程(抄)
教員無試験檢定ニ關スル指定學校名及學科目

高等科理科

英語(同)

前) 數學

第三學年ニ於テ數學每週六時間ヲ修メ且數學ノ成績優等ナル者ニ限ル

○學 則

第一章 總 則

第一條 本校ハ大正七年勅令第三百八十九號ニ依リ高等普通教育ヲ完成シ特ニ國民道德ノ充實ヲ計ルヲ以テ目的トス

第二條 本校ハ高等科ノミヲ置キ修業年限ヲ三年トス

第三條 本校ノ學科ハ之ヲ分チテ文科及理科トス

第二章 學年、學期及休業

第四條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル (大正十年四月改正)

第五條 學年ハ分チテ三學期トス (大正十年四月改正)

第一學期 四月一日ヨリ八月三十一日マデ

第二學期 九月一日ヨリ十二月三十一日マデ

第三學期 一月一日ヨリ三月三十一日マデ

第六條 休業日左ノ如シ (大正十年四月改正)

- 日曜日
- 天長節 四月二十九日 (昭和二年三月改正)
- 夏季休業 七月十一日ヨリ九月五日マデ
- 秋季皇靈祭 秋分日
- 創立記念日 十月十六日 (大正十五年五月改正)
- 神嘗祭 十月十七日
- 明治節 十一月三日 (昭和二年三月改正)
- 新嘗祭 十一月二十三日
- 冬季休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マデ
- 紀元節 二月十一日
- 春季休業 三月十一日ヨリ四月十日マデ

第三章 學科課程及教授時數

第七條 文科ノ學科課程及教授時數ハ左表ノ如シ

學科目	學年		
	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
國語及漢文	六	五	五
第一外國語	九	八	八
第二外國語	(四)	(四)	(四)
歷史	三	五	四
地理	二		
哲學概說			三
心理及論理		二	二
法制及經濟		二	二
數學	三		
自然科學	二	三	
體操	三	三	三
計	三九	二九	二八

第一外國語ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ル

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語		一一	一〇	一〇
第二外國語		(三)	(三)	(三)
計		三一 (三四)	三一 (三四)	三〇 (三四)

第二外國語ヲ修メザル者ニ對シテハ其ノ教授時數ハ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトアルベシ

(大正十四年四月改正)

第八條 理科ノ學科課程及教授時數ハ左表ノ如シ

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身		一	一	一
國語及漢文		四	二	
第一外國語		八	六	六

第二外國語	數	物	化學	植物及動物	礦物及地質	心理	法制及經濟	圖畫	體操	計
(四)	四			二	二		二	二	三	二八 (三二)
(四)	四	三	三	二	二		二	三	三	二八 (三二)
(四)	(二)四	五	五				(二)	三	三	二八 (三二)

第三學年ノ數學(二)及圖畫(二)ト第三學年ノ植物及動物(講義二實驗二)トハ生徒ニ於テ其一ヲ選擇スルコトヲ得
第一外國語ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類

一ヲ轉換スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ル

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語		一〇	九	九
第二外國語		(三)	(三)	(三)
計		(三)〇	(三)一	(三)四

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトアルベシ
(大正十年四月改正)

第九條 外國語ハ英語又ハ獨語トス

第四章 課程ノ修了及卒業

第十條 各學年末ニ於テ生徒ノ學業成績ヲ考查シ學年課程ノ修了又ハ卒業ヲ定ム

第十一條 各學年ノ課程修了ハ當該學年ニ於ケル行狀勤惰平素ノ成績及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ム但シ學科目ノ種類ニ依リ試験ヲ行ハザルコトアルベシ

第十二條 卒業ノ成績ハ三學年間ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ム

第十三條 試験ヲ分チテ平常試験及定期試験トス

平常試験ハ學科ノ進度ニ應シ隨時之ヲ施行ス

定期試験ハ學期末ニ於テ之ヲ施行ス

第十四條 學業成績ハ科目評點及平均點ヲ以テ表示シ各一百ヲ以テ最高トス

第十五條 學年評點左ノ各號ノ一ニ當ル者ハ進級又ハ卒業スルコトヲ得ス

一 平均評點六十未滿ナルトキ

二 一科目ノ評點四十未滿ナルトキ

三 科目評點五十未滿ノモノ二科目以上アルトキ

四 科目評點六十未滿ノモノ五科目以上アルトキ

前項各號ノ一ニ當ラズト雖正當ノ事由ナクシテ缺課、缺席及遲刻多キニ過クルトキハ進級又ハ卒業セシメザルコトアルベシ (大正十一年四月追加)

第十六條 試験ニ缺席シタル者ノ評點ハ當該學期ニ於ケル平素ノ成績ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第十七條 缺席、休學、停學等ノ爲平素ノ成績ヲ考查スルコト能ハサルトキハ臨機ノ處分ヲナス

第十八條 各學年ノ課程ヲ修了セサル者ハ次學年ニ於テ當該學年ノ全學科ヲ再修セシム

第十九條 學業成績ノ考查ニ關シテハ別ニ細則ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 所定ノ課程ヲ履修シ卒業セル者ニハ第一號書式ノ卒業證書ヲ授與ス

第五章 入學、退學、休學、除名及懲戒

第二十一條 入學ノ期ハ每學年ノ始ヨリ三十日以内トス

第二十二條 本校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ且身體検査ヲ受ケ之ニ合格シタル者タルベシ (昭和二年十二月改正)

- 一 中學校第四學年ヲ修了シタル者
- 二 他ノ高等學校尋常科ヲ修了シタル者
- 三 高等學校高等科入學資格試験ニ合格シタル者
- 四 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定ニ合格シタル者
- 五 文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者
- 六 文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

第二十三條 入學志願者ハ其ノ入學後修業セントスル科及類ヲ指定スヘシ 指定スヘキ科及類ハ左ノ如シ (昭和十三年一月改正)

- 文科 甲類 英語ヲ第一外國語トスルモノ
- 乙類 獨語ヲ第一外國語トスルモノ
- 理科 甲類 英語ヲ第一外國語トスルモノ
- 乙類 獨語ヲ第一外國語トスルモノ

(昭和十三年一月改正)

入學前在學シタル學校ニ於テ英語ヲ修メタル者ハ志望ノ類ニ簡(同一科内ノ類ニ限ル)ヲ併セ指定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ志望ノ類ノ順位ヲ定ムヘシ、獨語ヲ修メタル者ノ志望シ得ル類ハ文科乙類又ハ理科乙類ニ限ル試験若ハ檢定ノ合格ニ依リ入學資格ヲ有スル者ノ志望シ得ル類ハ之ニ準ズ (昭和十三年一月改正)

第二十四條 入學志願者ノ數各科類ニ入學セシムベキ人員ニ超過スルトキハ入學前ニ於ケル學業成績ト中學校第四學年修了ノ程度ニ依リ行フ試験ノ成績トヲ併セ考查シテ入學者ヲ選拔ス 前項ノ考查ノ外必要アリト認ムル時ハ入學志願者ニ對シテ人物考查ヲ行フコトアルベシ (昭和二年十二月改正)

第二十五條 入學考查料ハ金五圓トス (昭和三年六月改正) 既納ノ入學考查料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ還付セズ (昭和三年六月改正)

第二十六條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ指定ノ期日マテニ保證人ノ連署セル在學誓書(第二號書式)

ニ戶籍抄本竝入學資格證明書(學則第二十二條各號ノ)ヲ添へ本校ニ差出スヘシ

保證人タルベキ者ハ生徒ノ父兄若ハ父兄ニ代リテ其ノ責ニ任ズベキ者トス

保證人ハ被保證人ヲシテ能ク校則等ヲ遵守セシメ且其ノ身上ニ係ル一切ノ責務ヲ有ス

保證人死亡其ノ他ノ事由ノ爲其ノ責ヲ盡スコト能ハザルトキハ速ニ他人ヲ以テ之ニ代へ更ニ在學

誓書ヲ差出スベシ (大正十四年四月改正)

第二十七條 入學シタル者ハ本校所定ノ方式ニ從ヒ宣誓ヲ爲スベシ (大正十四年四月改正)

第二十八條 入學後ニ於テ修業科類ヲ變更セントスル者ニ對シテハ其ノ轉入セントスル科類ニ缺員

アル場合ニ限り試験ノ上許可スルコトアルベシ但シ第一學年ナルトキハ更ニ第二十四條ノ選拔試

驗ヲ受ケシム

前項本文ノ志願者ハ二月末日迄ニ變更ノ事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ願出ツベシ

(昭和七年七月改正)

第二十九條 疾病又ハ止ムヲ得ザル事故ニ依リ三箇月以上修學スルコト能ハザル見込ノ者ハ願ニ依

リ其ノ學年間休學ヲ許可スルコトアルベシ

第三十條 休學セントスル者ハ保證人ノ連署ヲ以テ願出ツヘシ但シ疾病ニ由ル者ハ醫師ノ診斷書ヲ

添附スヘシ (大正十二年三月改正)

第三十一條 陸軍又ハ海軍現役ニ服シ若ハ召集ニ應ズル者ハ其ノ服役召集ノ間休學トス

第三十二條 休學シタル者ハ次學年ノ始ヨリ當該學年ノ全學科課程ヲ修メシム但シ前條ニ依リ休學

シタル者ハ服役滿期又ハ召集解除ノ後直ニ原級ニ復スベシ

第三十三條 疾病其ノ他ノ事故ニ依リ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ

願出ツヘシ但シ疾病ニ由ル場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ (大正十二年三月改正)

第三十四條 生徒ハ學校長ノ許可ヲ得ルニアラザレハ他學校ノ入學試験ヲ受クルコトヲ得ズ

第三十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ之ヲ除名ス

一 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

二 引續キ一年以上缺席シタル者

三 正當ノ理由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

四 出席常ナラザル者

五 第三十一條ニ依ル場合ノ外二回引續キ原級ニ止マル者但シ第二學年以上ノ生徒ニシテ特別ノ

事情アル者ハ詮議ノ上原級ニ止マラシムルコトアルヘシ (昭和二年十月改正)

六 授業料又ハ寄宿料ノ滯納十五日ニ及ブ者

前項各號ノ外學校長ハ臨機除名ヲナスコトアルベシ
 第三十六條 本校生徒ニシテ學籍ヲ失ヒタル者其ノ學籍ヲ失ヒタル日ヨリ二年以内ニ再入學ヲ志願スルトキハ詮衡ノ上當該學年ノ始又ハ翌學年ノ始ヨリ三十日以内ニ於テ同一學年以下ノ學年ニ限リ入學ヲ許可スルコトアルベシ (昭和十年十月八日改正)
 第三十七條 品行不良或ハ校規風儀ヲ紊亂シ其ノ他生徒ノ本分ニ背戾スル者ハ之ヲ懲戒ス
 第三十八條 懲戒ハ之ヲ分チテ戒飭停學放校ノ三種トス

第六章 入學料及授業料

第三十九條 入學ノ許可ヲ受ケタル者ハ指定ノ期日マデニ入學料金參圖ヲ納ムヘシ
 第四十條 授業料ハ一學年金八拾圓トス (昭和四年四月改正)
 第四十一條 授業料ハ左ノ三期ニ分納セシム (昭和四年四月改正)

期 別	金 額	納 期
第一期	金貳拾四圓	自四月十一日 至四月二十日
第二期	金參拾貳圓	自九月六日 至九月二十日
第三期	金貳拾四圓	自一月八日 至一月二十日

前項納期以後ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ入學ノ許可ヲ得タル日ヨリ七日以内ニ當該期ノ授業料ヲ納付スベシ

第四十二條 授業料ハ缺席停學等ノ爲ニ免除セズ
 第四十三條 學年ノ中途ニ退學又ハ休學シタル者ニ對スル授業料ハ次期以降ノ分納額ヲ徵收セズ但シ第三十一條ニ依リ休學シタル者ニ在リテハ其ノ休學ノ日、納期最終日前ニ屬スルトキハ次月分ヨリ、納期最終日後ニ屬スルトキハ次期分ヨリ之ヲ徵收セズ
 前項但書該當者休學ノ事故止ミテ學年ノ中途ニ於テ課業ニ就キタルトキハ當該期ノ授業料ハ其ノ月分ヨリ之ヲ徵收ス (大正十三年四月改正)
 第四十四條 既納ノ入學料又ハ授業料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ還付セズ
 第四十四條ノ二 學資支辨ノ極メテ困難ナル者ニ對シテハ授業料ヲ減免スルコトアルヘシ (昭和五年四月追加)
 第四十四條ノ三 授業料ノ減免ハ學年毎ニ之ヲ定ムルヲ原則トス但シ學年ノ中途ニ於テ減免ノ場合ハ次ノ徵收期分ヨリ之ヲ實施ス (昭和五年四月追加)
 第四十四條ノ四 授業料ノ減免ヲ出願セントスル者ハ學年ノ始ニ於テ左ノ各號ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願出ツベシ但シ學年ノ中途ニ於テモ出願スルコトヲ得 (昭和五年四月追加)

- 一、戸主及家族ノ職業 (各人別)
- 二、戸主及家族ノ資産 (各人別)
 - 戸主及家族ノ前年度ニ受ケル納稅額(各人別ノ納稅額ト其ノ内課)ニ對スル市區町村長ノ證明書
- 三、獎學ヲ目的トスル地方公共團體、育英會等ノ學資ノ補給又ハ貸與ヲ受クルトキハ其ノ月額
- 四、學資支辨ニ困難ナル事情ノ詳細
- 第四十四條ノ五 授業料減免ノ事情止ミタリト認メタルトキハ翌月分ヨリ之ヲ徵收ス

(昭和五年四月追加)

第四十五條 第四十三條第一項但書同條第二項及第四十四條ノ五ノ場合ニ於ケル授業料ノ月割額ハ金八圓トス但シ第一期授業料ノ月割ニ關シテハ七月及八月ヲ算入セス (昭和五年四月改正)

第七章 學 寮

- 第四十六條 學寮ハ生徒ヲ寄宿セシメ本校教育ノ趣旨ニ從ヒ心身ヲ鍛鍊シ學術ヲ自習セシムル處トス
- 第四十七條 新ニ入學シタル生徒ハ特別ノ事情ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ外總テ學寮ニ入ルヘキモ

ノトス

第四十八條 在寮生徒ニシテ退寮セント欲スル者ハ其ノ事由ヲ具シテ願出ヅベシ

第四十九條 在寮生徒ニシテ疾病ニ罹リタルトキハ退寮又ハ外泊セシムルコトアルベシ

第五十條 寄宿料ハ一學年金貳拾貳圓トシ左ノ三期ニ分納セシム

第一期 金 八 圓 第二期 金 八 圓 第三期 金 六 圓

寄宿料ノ納期ハ授業料ノ納期ニ依ル但シ納期以後ニ入寮ヲ許可セラレタル者ハ入寮ノ許可ヲ得タル日ヨリ七日以内ニ納付スベシ

寄宿料納期最終日後ニ入寮スル者ノ寄宿料ハ其ノ月分ヨリ、寄宿料最終日前ニ退寮スル者ノ寄宿料ハ其ノ月分ヲ徵收ス

前項ノ場合ニ於ケル寄宿料ノ月割額ハ金貳圓トス但シ第一期寄宿料ノ月割ニ關シテハ八月ヲ算入セス (大正十三年四月改正)

第五十一條 既納ノ寄宿料ハ何等ノ事情アルモ還付又ハ減額セズ

第五十二條 在寮生徒ニシテ其ノ本分ニ悖戾スル行爲アリト認ムルトキハ情狀ニ依リ退寮ヲ命ズルコトアルベシ

第一號書式

校印

卒業證書

府(縣)氏

年月日生

右者本校所定ノ文(理)科ノ學科ヲ修メ正ニ其ノ業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

山口高等學校長 位勳學位尉 氏

名 職印

番 號

第二號書式(大正十二年三月改正)

三錢收
入印紙

在 學 誓 書

某(生徒ノ名)儀御校在校中校則等ヲ遵守可致ハ勿調學籍ヲ脱シ候後ト雖在學中ニ生シタル一切ノ義務ハ必履行可致萬一違背致候節ハ保證人ニ於テ一切之ヲ引受可申仍テ誓書如件

年 月 日

科 類第 學年生徒

氏

名 年月日生

山口高等學校長 氏 名 殿

本 籍
現 住 所
職 業

生徒トノ關係

保證人 氏

名 年月日生

○生徒心得

本校生徒タル者ハ教育ニ關スル勅語並ヒニ青少年學徒ニ賜ハリタル勅語ノ聖旨ヲ奉體シテ學業ニ勵ミ以テ國家有用ノ材トナリ負荷ノ太任ヲ全クセンコトヲ期スヘシ茲ニ其ノ大綱八箇條ヲ掲ク

- 一、皇國ノ道ヲ修メ國體ノ本義ニ徹スヘシ
- 一、我カ國文化ノ特質ヲ究メ東亞及世界ノ大勢ヲ察シ皇國ノ地位ト使命トノ自覺ニカムヘシ
- 一、一般的教養ヲ高メ學術研究ノ基礎ヲ固クシ工夫創造ノ力ヲ練ルヘシ
- 一、純真高雅ナル情操ヲ養ヒ品位ノ向上ヲ圖ルヘシ
- 一、質實剛健ノ氣風ヲ振勵シ高邁闊達ノ氣宇ヲ存養スヘシ
- 一、勤勞ヲ尙ヒ實踐躬行ニ努ムヘシ
- 一、集團生活ヲ重シシ規律節制ヲ守リ親和禮節ヲ尊フヘシ
- 一、心身一體ノ鍛鍊ニ力メテ強健敢爲ノ體軀ヲ作り堅忍持久ノ精神ヲ養フヘシ

○細則

一 學則施行細則

第一章 學科及授業

- 第一條 學則第三章ニ掲クル學科ハ別ニ定ムル教授要目ニ依リ之ヲ實施ス
- 第二條 每週授業ノ日課ハ學年ノ始ニ之ヲ定ム但シ場合ニ依リ學年ノ半途ニ於テ之ヲ變更シ又ハ臨時日課ヲ變更スルコトアルベシ
- 第三條 事故ニ依リ豫定ノ進展ニ達セスト認ムルトキハ所定日課以外ノ授業ヲ課スルコトアルベシ
- 第四條 一授業時ヲ五十分トス
- 第五條 實驗、圖畫、體操等ニ於テハ一授業時ヲ延長シ又ハ二授業時以上連續シテ授業スルコトアルベシ
- 第六條 生徒ハ授業始ノ號鐘ヲ聞クトキハ直ニ着席シ教官ノ入場ヲ待ツベシ
- 第七條 生徒ハ授業ノ始及終ニ於テ教官ニ對シ敬禮スベシ

第二章 在學及通學

第八條 通學生徒ハ異動ノ有無ニ拘ラズ毎年四月十五日迄ニ宿所届ヲ差出スベシ

宿所届用紙ハ生徒課ニ申出テ交付ヲ受クベシ (大正十四年四月改正)

第九條 宿所ヲ變更セントスルモノハ豫メ生徒課ノ承認ヲ得テ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十條 生徒ノ宿所ヲ不適當ナリト認ムルトキハ轉宿ヲ命ズルコトアルベシ

第十一條 生徒遅刻、缺課又ハ缺席シタルトキハ當日ヲ含ム四日以内ニ所定ノ届出用紙ニ其ノ理由ヲ明記シテ生徒課ニ届出ツベシ但シ引續キ缺席シテ右ノ手續ヲ爲スコト能ハサルトキハ右期限内ニ書面ヲ以テ届出ツベシ

疾病ニ因リ連續缺席六日以上ニ亙ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルコトヲ要ス但シ休業日前後ニ亙ル缺席ハ連續缺席ト看做ス

第十二條 通學生歸省又ハ旅行セントスルトキハ其ノ事由及旅行先ヲ明記シ豫メ生徒課ニ届出ツベシ

第十三條 生徒ノ本籍、身分又ハ保證人ノ本籍、身分、現住所、職業ニ異動ヲ生ジタルトキハ直ニ届ツベシ但シ本籍、身分異動ノ場合ハ市區町村長ノ證明書ヲ添付スベシ (大正十四年四月改正)

届出最終期限日ガ休業日ニ該當スルトキハ其翌日ヲ以テ届出期限トス

第十三條 生徒ノ本籍、身分又ハ保證人ノ本籍、身分、現住所、職業ニ異動ヲ生ジタルトキハ直ニ届ツベシ但シ本籍、身分異動ノ場合ハ市區町村長ノ證明書ヲ添付スベシ (大正十四年四月改正)

第三章 成績考查試験

第十四條 學業成績評點科目左ノ如シ

文科 甲類

學科目	學年		
	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
國語漢文及作文	三	三	三
第一外國語	三	三	三
第二外國語	一	一	一
歷史	一	二	二
地理	一	一	一
哲學概說	一	一	一
心理及論理	一	一	一
法制及經濟	一	一	一
數學	一	一	一
自然科學	一	一	一

文科乙類

學科目	學年	體操	
		計	操
第一學年	第一學年	一三	一
第二學年	第二學年	一四	一
第三學年	第三學年	一四	一

學科目	學年	修身	國語漢文及作文	第一外國語	第二外國語	歷史	地理	哲學概說	心理及論理	法制及經濟	數學	自然科學	
												計	操
第一學年	第一學年	一	三	三	一	一	一				一	一三	一
第二學年	第二學年	一	三	三	一	二			一	一		一四	一
第三學年	第三學年	一	三	三	一	二			一	一		一四	一

理科甲類

學科目	學年	體操	
		計	操
第一學年	第一學年	一三	一
第二學年	第二學年	一四	一
第三學年	第三學年	一四	一

學科目	學年	修身	國語漢文及作文	第一外國語	第二外國語	數學	物理	化學	植物及動物	礦物及地質	自然科學	
											計	操
第一學年	第一學年	一	二	三	一	二			一	一	一三	一
第二學年	第二學年	一	二	二	一	二			一	一	一四	一
第三學年	第三學年	一	二	二	一	二			一	一	一四	一

心 理	一		
法 制 及 經 濟	一		
國 畫	一		
體 操	一		
計	一四	一三	一三

理科乙類

學 科 目	學 年	第 一 學 年	第 二 學 年	第 三 學 年
修 身		一	一	一
國 語 漢 文 及 作 文		二	一	一
第 一 外 國 語		三	三	三
第 二 外 國 語		一	一	一
數 學		二	二	二
物 理			一	二
化 學			一	二

植 物 及 動 物	一		
礦 物 及 地 質	一		
心 理		一	
法 制 及 經 濟	一		
國 畫	一		
體 操	一		
計	一四	一四	一四

第二外國語ハ之ヲ修ムルモノニ對シテハ他學科ト同一ニ取扱フモノトス

第十五條 各教官ハ每學期末ニ於テ其ノ擔任ニ屬スル科目評點ヲ定ム

第十六條 平常試驗ハ每學期一回以上施行スルヲ常例トス其ノ期日ハ學科擔任教官之ヲ定メ豫メ教務課ニ報告スベシ

第十七條 學期試驗ハ當該學期ニ於テ履修セル部分ニツキ施行ス但シ必要ト認メタルトキハ當該學期前ニ履修セル部分ヲモ試驗スルコトアルベシ

第十八條 各學科ノ學年評點ハ各學期評點ノ和ヲ三除シタルモノトス

第十九條 同一學年間ニ於テ二回以上學期試驗ニ缺席シタル者ハ特別ノ詮議ニ依ル外學年評點ヲ附

セズ

第二十條 卒業ノ成績ハ第一、第二、第三學年ノ各學年平均點ノ和ヲ三除シテ之ヲ定ム

第二十一條 在學生徒ノ席次ハ各學年ノ成績ニ依リ卒業席次ハ卒業ノ成績ニ依リ各科類ニツキ之ヲ定ム

第四章 學級總代

第二十二條 各學級ニ總代二名ヲ置ク

第二十三條 學級總代ハ當該學級生徒ヲシテ若干名ノ候補者ヲ互選セシメ其ノ中ニ就キ學校長之ヲ命ズ

第二十四條 學級總代ハ學級主任ノ指揮ヲ受ケ所屬學級内ノ風紀ニ注意シ命令ヲ傳達シ教室内ノ秩序及清潔ヲ保持スベシ

第二十五條 學級總代ノ任期ハ一學年トス

第五章 服 裝

第二十六條 生徒登校スルトキハ必ス所定ノ制服ヲ着用スヘシ但シ脚絆ハ特ニ指定シタル場合ノ外着用セサルコトヲ得

第二十七條 生徒外出ノ際ハナルベク制服ヲ着用スベシ和服ノ場合ハ必ズ袴及制帽ヲ着用スベシ

第二十八條 夏服着用ノ期間ハ其ノ都度之ヲ揭示ス

第二十九條 制服左ノ如シ

一、冬 帽

制 式 丸形

地 質 黒「ステープルファイバー」混織羅紗

前 章 柏三葉ニ山高ノ二字ヲ配ス

横 章 白三條

二、夏 帽

制 式 本校所定ノモノ

地 質 麥藁

前 章 冬帽ニ同シ

横 章 焦茶ニ白三條

三、冬 服

制 式 背廣形立襟

地質 濃紺小倉若ハ濃紺「ステイブルファイバー」混織毛織
釧 金色圓内山高ノ二字ヲ表ス

四、夏服 制式 冬服ニ同シ

地質 鼠霜降「ステイブルファイバー」混織小倉
釧 冬服ニ同シ

五、靴 制式 黒革又ハ黒「ズツク」
六、脚絆 制式 卷脚絆（茶褐色）

第三十條 夏服着用ノ期間ニ於テハ夏帽ヲ着用スルコトヲ得但シ儀式若ハ體操ノ時ハ冬帽ヲ用フヘシ

第六章 學寮

第三十一條 學寮生徒ハ生徒主事指導ノ下ニ學則第四十六條ノ勵行ヲ期スヘシ

第三十二條 寮内ノ日課時限ハ學校長ノ認可ヲ得テ生徒主事之ヲ定ム

第三十三條 各室人員ノ配當ハ生徒主事之ヲ定ム

第三十四條 各寮ニ寮總代一名及委員若干名ヲ置ク

第三十五條 寮總代ハ生徒主事ノ指揮ヲ受ケテ寮内ノ風紀ニ注意シ秩序清潔ヲ保持スベシ

第三十六條 寮委員ハ總代ノ任務ヲ補佐シ其ノ用務ヲ分掌ス

第三十七條 默習時間ハ嚴ニ沈黙ヲ守リ妄ニ言語ヲ交ヘ又ハ遊戲等ヲ爲スベカラズ

第三十八條 默習時間外ト雖放歌口論又ハ安眠ヲ妨害スルガ如キ行爲アルベカラズ

第三十九條 歸寮並外出ノ際ハ玄關備付ノ名札ヲ表裏スベシ

第四十條 毎朝所持品寢具等ヲ整頓シ室内ヲ掃除スベシ

第四十一條 人員ノ點檢ハ隨時之ヲ行フ

第四十二條 門限ニ後レテ歸寮セシ者ハ備付ノ帳簿ニ其ノ理由ヲ明記シテ届出ヅベシ

第四十三條 歸省セントスル者又ハ止ヲ得ザル事故ニ依リテ外泊セントスル者ハ其ノ事由ヲ明記シ

テ願出ヅベシ

第四十四條 學寮生徒ハ別ニ定ムル所ノ食費ヲ毎月五日迄ニ生徒課寮務室ニ納付スベシ

但シ一月、四月及九月ハ其ノ月ノ十五日迄ニ納付スベシ（大正十三年四月改正）

第四十五條 學期木休業中ハ學寮ヲ閉鎖ス

二 生徒心得細則

- 第一條 生徒ハ本校ノ規則告示命令等ニ服従シ特ニ生徒心得ノ趣旨ヲ服膺シ生徒タルノ本分ヲ完ウ
セシコトヲ期スベシ
- 第二條 生徒ハ本校職員ニ對シテハ勿論相互ニ敬禮スベシ
- 第三條 生徒ハ酒類ヲ飲用スベカラズ
- 第四條 生徒ハ料理店又ハ風儀ヲ紊ス虞アル場所ヘ出入スベカラズ
- 第五條 生徒ハ校内ニ於テハ所定ノ場所ノ外喫煙スベカラズ
- 第六條 生徒ノ頭髮ハ五分以下ノ丸刈トスベシ
- 第七條 左記ノ一ニ該當スル「マント」ハ使用スベカラズ
色 黒色以外ノモノ
仕立方 襟ニ「ピロッド」毛皮等ヲ附ケタルモノ
裏地 黒色以外ノモノ
- 第八條 生徒集會ヲナサントスルトキハ豫メ生徒課ニ届出ツベシ此ノ場合ニ於テ講堂教室等ヲ借用
セントスルトキハ該建物監守者ノ許可ヲ受クルヲ要ス

三 校務分掌規程

- 第九條 生徒揭示ヲナサントスルトキハ生徒課ノ許可ヲ受クベシ
- 第十條 生徒ハ授業ヲ受クルトキノ外教室ニ入ルベカラズ
- 第十一條 本校告示ハ所定ノ場所ニ揭示シタル以上ハ全般ニ了知セラレタルモノト見做スヲ以テ生
徒ハ常ニ揭示場ニ注意スベシ
- 第十二條 本校所屬ノ建物又ハ器物ヲ毀害シタルトキハ辨償セシムルコトアルベシ
- 第十三條 近火又ハ事變アルトキハ直ニ登校シ職員ノ指揮ヲ受クベシ
- 第十四條 新ニ入學シタル生徒ハ四月三十日マデニ指導ヲ受ケントスル教官ノ内諾ヲ得テ其ノ旨生
徒課ニ届出ツベシ
- 第十五條 生徒ヨリ提出スル願届書ハ總テ指導教官ノ檢閲ヲ經テ生徒課ニ差出スベシ
但シ指導教官未定ノ場合又ハ事故ノ爲學校ニ出勤セザルトキハ生徒主事ノ檢閲ヲ受クベシ

- 第一條 校務ヲ分チテ授業及事務トス
- 第二條 授業ハ各教官ヲシテ之ヲ分擔セシメ所定ノ教授訓育ニ當ラシム
- 第三條 事務ヲ分チテ教育事務及分課事務トス

第一章 教育事務

第四條 教育事務ニ於テ各教官ノ擔任スベキモノ概ネ左ノ如シ

- 一、生徒ノ學業成績ヲ調査スルコト
- 二、生徒ノ操行動情ヲ調査スルコト

三、教室内ノ秩序ヲ保持スルコト

四、擔任學科教授要目ヲ調製スルコト

五、教育ノ成績及教授ノ經過ヲ報告スルコト

六、其他生徒ノ教育ニ關スル一切ノコト

第五條 教育事務整理ノ責ニ任ゼシムル爲メ學科主任、學級主任及指導教官ヲ置ク

第六條 學科主任ハ左ノ學科ニ就キ各一人トシ各教宜中ニ就キ學校長之ヲ命ズ

第一學科 修身、哲學概説、心理及論理、法制及經濟

第二學科 國語及漢文

第三學科 英語

第四學科 獨語

第五學科 歴史、地理

第六學科 數學

第七學科 物理、化學

第八學科 植物及動物、礦物及地質、自然科學

第九學科 圖畫

第十學科 體操

第七條 學科主任ハ當該學科授業ノ統一進歩ノ爲メ必要ナル處置ヲ爲スモノトス

第八條 學級主任ハ各學級一人トシ教官中ニ就キ學校長之ヲ命ズ

學級主任ノ任期ハ一學年トス

第九條 學級主任ハ所屬生徒ヲ統率シ其ノ學業ヲ督勵シ風紀ヲ振肅シ其ノ他當該學級ニ關スル事項

ヲ臨樣處置スルモノトス

第十條 指導教官ハ教官中ニ就キ學校長之ヲ委囑シ全生徒ヲシテ之ニ分屬セシム

第十一條 指導教官ハ所屬生徒ノ品行學業健康等ニ關シ終始適切ナル指導ヲ與ヘ生徒ヲシテ其ノ本

分ヲ完ウセシメンコトヲ期スベシ

第十二條 指導教官ハ生徒ヨリ差出ス總テノ願届書等ヲ豫メ檢閲スベシ

第十三條 各指導教官所屬ノ生徒數ハ二十名内外トス

第二章 分課事務

第十四條 本校ニ教務課、生徒課、庶務課、會計課、圖書課ヲ置キ事務ヲ分掌セシム

第十五條 各課ニ課長ヲ置キ學校長ヲ指揮ヲ受ケテ當該課ニ關スル事務ヲ掌理セシム

第十六條 課長ハ職員中ニ就キ學校長之ヲ命ズ

第十七條 各課所屬ノ職員ハ課長ノ指揮ヲ受ケテ事務ニ従事ス

第十八條 教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、學科課程ニ關スルコト
- 二、日課ノ配當及教官ノ分擔ニ關スルコト
- 三、授業及休業ニ關スルコト
- 四、教科用圖書ニ關スルコト
- 五、生徒募集及入學ニ關スルコト
- 六、選拔試験ニ關スルコト
- 七、試験、成績考査、進級及卒業ニ關スルコト

八、成績證明ニ關スルコト

九、學級編成ニ關スルコト

十、生徒ノ修業科類及志望學科ニ關スルコト

十一、教授上ノ設備ニ關スルコト

十二、教室ニ關スルコト(特別教室ヲ除ク)

十三、修學旅行ニ關スルコト

十四、卒業生ニ關スルコト

十五、教官ノ報告ニ關スルコト

十六、高等科學力檢定試験及教員無試験檢定願ニ關スルコト

十七、卒業生ノ大學進入ニ關スルコト

十八、評議員會及教官會ニ關スルコト

十九、參觀人取扱ニ關スルコト

二十、教務課ニ屬スル文書ノ起案、編纂及保存ニ關スルコト

二十一、其他教務ニ關スル一切ノコト

第十九條 生徒課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、生徒ノ訓育及風紀ニ關スルコト
- 二、生徒ノ思想ノ調査研究ニ關スルコト
- 三、生徒ノ思想的運動ニ關スルコト
- 四、生徒ノ勤惰ニ關スルコト
- 五、生徒ノ服裝ニ關スルコト
- 六、生徒ノ賞罰ニ關スルコト
- 七、生徒ノ學籍及兵役ニ關スルコト
- 八、生徒ノ入學、休學、退學及除名ニ關スルコト
- 九、在學及品行證明ニ關スルコト
- 十、生徒ノ入寮及退寮ニ關スルコト
- 十一、體育及運動ニ關スルコト
- 十二、學校衛生ニ關スルコト
- 十三、身體検査ニ關スルコト
- 十四、生徒控所ニ關スルコト
- 十五、生徒ノ集會及掲示ニ關スルコト

- 十六、生徒ノ汽車汽船賃割引證交付ニ關スルコト
 - 十七、生徒ノ學資ニ關スルコト
 - 十八、學寮ノ管理及警備ニ關スルコト
 - 十九、學寮當直ニ關スルコト
 - 二十、生徒課ニ屬スル文書ノ起案、編纂及保存ニ關スルコト
 - 二十一、其他生徒取締ニ關スル一切ノコト
- 第二十條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、御眞影及勅語謄本ノ保管ニ關スルコト
 - 二、校長官印及校印ノ管守ニ關スルコト
 - 三、校旗ノ保管ニ關スルコト
 - 四、職員ノ進退及身分ニ關スルコト
 - 五、職員ノ服務ニ關スルコト
 - 六、傭外國人ニ關スルコト
 - 七、文書ノ授受及發送ニ關スルコト
 - 八、學校一覽ニ關スルコト

- 九、官報報告及統計報告ニ關スルコト
 - 十、諸規則ノ制定改廢ニ關スルコト
 - 十一、日誌及記録ニ關スルコト
 - 十二、諸儀式ニ關スルコト
 - 十三、校章ニ關スルコト
 - 十四、事務當直ニ關スルコト
 - 十五、寄贈ノ金品等ニ關スルコト
 - 十六、職員ノ汽車汽船賃割引證交付ニ關スルコト
 - 十七、卒業證書ニ關スルコト
 - 十八、庶務課ニ屬スル文書ノ起案、編纂及保存ニ關スルコト
 - 十九、他課ニ屬セザル一切ノコト
- 第二十一條 會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、歲入歲出豫算及決算ニ關スルコト
 - 二、國有財産及資金ノ保管ニ關スルコト
 - 三、金錢ノ收支保管ニ關スルコト

- 四、物品ノ頼入及修理ニ關スルコト
 - 五、物品ノ出納及保管ニ關スルコト
 - 六、不用物品ノ處分ニ關スルコト
 - 七、營繕ニ關スルコト
 - 八、電話電燈瓦斯給水及燬房ニ關スルコト
 - 九、防火警備及取締ニ關スルコト
 - 十、校舍内外ノ清潔及掃除ニ關スルコト
 - 十一、傭人ノ進退及取締ニ關スルコト
 - 十二、門鑑ニ關スルコト
 - 十三、會計課ニ屬スル文書ノ起案、編纂及保存ニ關スルコト
 - 十四、其他會計ニ關スル一切ノコト
- 第二十二條 圖書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、圖書ノ保管整理出納ニ關スルコト
 - 二、圖書印ノ保管ニ關スルコト
 - 三、圖書目錄編纂ニ關スルコト

- 四、圖書ノ選定ニ關スルコト
- 五、圖書ノ貸付ニ關スルコト
- 六、書庫及閲覧室ニ關スルコト
- 七、新聞雜誌年報一覽等ノ保管整理及出納ニ關スルコト
- 八、圖書ノ購入及修理ニ關スルコト
- 九、圖書課ニ屬スル文書ノ起案、編纂及保存ニ關スルコト
- 十、其他圖書ニ關スル一切ノコト
- 第二十三條 各課ノ主掌事務ニシテ他課ニ關聯スルモノハ合議スベシ
- 第二十四條 各課所屬ノ職員ハ常務ノ外時宜ニ依リ他課ノ事務ヲ補助スベシ

四 會議規程

- 第一條 本規程ニ於テ教官ト稱スルハ教授、助教授及講師ヲ謂フ
- 第二條 會議ヲ分チテ評議員會及教官會トス
- 第三條 評議員會ハ學校長ノ諮問ニ應ジ校務ニ關スル重要ノ事項ヲ審議ス
- 第四條 評議員會ハ評議員ヲ以テ組織ス

評議員ハ課長、專任生徒主事以外ノ教官ヨリ五選シタル者若干名ニ就キ學校長之ヲ命ズ
課長、專任生徒主事ハ當然評議會ニ參與スベキモノトス
一 必要ノ場合ニハ臨時他ノ教官ヲ評議員會ニ參與セシムルコトアルベシ
第五條 教官ヨリ五選シタル評議員ノ任期ハ一學年間トス但シ再選スルコトヲ得
第六條 教官會ハ學校長ノ諮問ニ應ジ學科課程試驗及成績考査其ノ他學校長ニ於テ必要ト認メタル
事項ヲ審議ス

第七條 教官會ハ教官ヲ以テ之ヲ組織ス

五 圖書ニ關スル規程

- 第一條 本校所藏ノ圖書ハ圖書課員ノ外之ヲ出納スルコトヲ得ズ
- 第二條 職員ハ教授上若ハ事務上必要ナル圖書ヲ借受ケ之ヲ教官室、特別教室、事務室ニ備ヘ置キ
又ハ滲考用トシテ圖書ヲ借覽スルコトヲ得
- 第三條 職員ノ借覽シ得ベキ圖書ノ冊數ハ隨時之ヲ定ム
- 第四條 職員圖書ヲ借受ケムトスルトキハ所定ノ借覽證書ヲ圖書課ニ差出スヘシ
- 第五條 借受ケタル圖書ハ毎年七月一日迄ニ全部返納セシムルコトアルベシ

- 第六條 圖書閱覽室ハ本校休業日ヲ除クノ外毎日之ヲ開ク但シ臨時閉スルコトアルベシ
- 第七條 圖書閱覽室閉ノ時限ハ之ヲ揭示ス
- 第八條 閱覽ノ爲借受ケ得ベキ圖書ノ冊數ハ隨時之ヲ定ム
- 第九條 圖書ヲ閱覽セムトスル者ハ所定ノ閱覽證ヲ圖書課ヘ差出スヘシ
圖書ハ閱覽終レバ直チニ返納スベシ
- 第十條 閱覽者ハ圖書ヲ閱覽室外ニ携出シ又ハ他人ニ轉貸スルコトヲ得ズ
- 第十一條 閱覽者ハ圖書ヲ鄭重ニ取扱フベシ汚損若ハ紛失シタルトキハ之ヲ辨償セシム
- 第十二條 閱覽者ハ閱覽室内ニ於テ喫煙、談話、音讀ヲ爲スコトヲ得ズ
- 第十三條 閱覽ニ供スル目的ヲ以テ圖書ヲ委託セムトスル者ハ其ノ圖書名、著譯編者名、裝幀別、冊數及見積價格ヲ具シ委託期限ヲ定メテ校長ノ承諾ヲ受クベシ
- 第十四條 委託圖書ハ委託者ニ於テ之ヲ本校ニ送致スベシ本校ハ之ニ對シ委託書ヲ交付ス
- 第十五條 委託圖書ハ本校ノ圖書ト同一ニ取扱フ但シ委託者ノ希望ニ依リ特別ノ取扱ヲ爲スコトアルベシ
- 第十六條 委託圖書ハ不可抗力ニ因リ損害ヲ生ズルコトアルモ本校ハ其ノ責ニ任ゼズ

六 物品會計規程細則

- 第一條 本校所屬物品ノ保管及出納ハ物品會計規則並ニ文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ尙本細則ニ依リ處理スルモノトス
- 第二條 物品ヲ大別シテ備品、消耗品ノ二種トシ又備品ノ各部局共用ニ係ルモノヲ共用備品トシ職員各自ノ使用スルモノヲ専用備品ト云フ但シ備品消耗品ノ區分ハ學校長之ヲ定ム
- 第三條 物品ノ出納命令ハ學校長之ヲ廢シ其出納ハ物品會計官吏之ヲ執行スルモノトス
- 第四條 前條物品ノ出納命令ハ物品請求書及物品返付書又ハ他ノ文書ヲ以テスルモノトス
- 第五條 物品ノ請求ヲ爲サントスルトキハ當該請求主任者ニ於テ所定ノ物品請求書用紙ニ其品目、數量、需用事由ヲ記入シ會計課ニ差出スベシ但シ圖書ニアリテハ圖書課ニ請求スルモノトス機械、標本等ノ購入及修理ニシテ特ニ注文先ヲ選擇スルノ必要アルトキハ當該請求部局ニ於テ當業者ノ見積書ヲ徵シ之ヲ添付會計課ニ請求スルモノトス
- 第六條 會計課ニ於テハ前條物品ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ其在庫品及新ニ購入、若クハ修理ヲ要スルモノハ總テ學校長ノ命令ヲ受ケ處理スベキモノトス
- 第七條 圖書課ニ於テハ圖書ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ會計課ヲ經由シ學校長ノ命令ヲ受

ケ處理スヘキモノトス

第八條 物品會計官吏物品ヲ支給スルトキハ曩ニ請求者ヨリ提出シアル物品請求書ノ受領欄ニ捺印セシムルモノトス

第九條 文書發送ノ主務課ニ於テハ郵便切手類受拂簿ヲ設ケ其受拂ヲ詳記シ毎月支拂高等ヲ本簿ト共ニ翌月會計課ヲ經テ學校長ニ報告スルモノトス

第十條 物品監守者又ハ物品取扱主任者ハ物品ノ配付ヲ受ケタルトキハ備品ニアリテハ備品監守簿ニ消耗品ニアリハ消耗品受拂簿ニ直ニ記帳スベキモノトス

第十一條 各局部ニ物品監守者及物品取扱主任者ヲ置キ備品ノ監守消耗品ノ取扱ヲ爲サシムルモノトス但シ各局部ノ狀況ニ依リ物品監守者ト物品取扱主任者トヲ兼ネシムルコトアルベシ

第十二條 専用備品ハ各自之ヲ監守シ其責ニ任ズルモノトス

第十三條 物品監守者又ハ物品取扱主任者交替シタルトキハ新舊任者會合ノ上、現品ト帳簿トヲ對照シ引繼ヲ爲スベキモノトス但シ本文引繼ヲ了シタルトキハ其ノ旨ヲ會計課ニ報告スヘキモノトス

第十四條 物品監守者ハ使用物品ノ自然毀損シ修理スルモノアルトキハ所定ノ物品請求書用紙ニ夫々記入シ會計課ニ請求スルモノトス

第十五條 物品監守者及物品取扱主任者ハ物品ノ不用ニ屬シタルモノアルトキハ所定ノ物品返付書用紙ニ夫々記入シ會計課ニ返付シ監守簿又ハ消耗品受拂簿ニ事由及年月日ヲ記入シ會計課ノ受領

證印ヲ受クルモノトス

第十六條 物品監守者又ハ物品取扱主任者其ノ保管ノ物品ヲ紛失又ハ毀損シタルトキハ遲滞ナク其ノ顛末ヲ詳記シ會計課ヲ經テ學校長ニ申報スヘキモノトス

第十七條 備品ニハ番號ヲ付スベキモノトス其ノ番號ヲ付スルコト能ハザルモノニアリテハ適當ノ方法ニ依リ整理スベシ

第十八條 物品監守者ハ使用物品番號標札ノ脱落汚損シタルモノアルトキハ會計課ニ付替ノ請求ヲ爲スベキモノトス

第十九條 總テ物品ハ校外ヘ持出スコトヲ得ザルモノトス但シ學校長ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限りニ在ラス

第二十條 物品會計官吏ハ左ノ各項ニ依リ使用物品ヲ監督スルモノトス
一、備品ハ毎年一回以上物品出納簿ト各局部監守簿ト對照シ尙現品トヲ調査スルコト

二、消耗品ハ隨時物品出納簿ト消耗品受拂簿トヲ對照シ尙現品トヲ照査スルコト
第二十一條 物品會計官吏及物品監守者物品取扱主任者ハ物品ノ出納保管ヲ明確ナラシムル爲左ノ

帳簿ヲ設クルモノトス

一、備品出納簿（器具、機械、標本）様式略以下同シ

一、備品出納簿（圖書）

一、消耗品出納簿

一、備品支給簿（本簿ハ部局毎ニ冊別トナシ類別毎ニ口座ヲ設ケ記帳スルモノトス）

一、備品監守簿（同上）

一、圖書分類目錄（本簿ハ分類別ニ口座ヲ設ケ記帳スルモノトス）

一、消耗品受拂簿（同上）

一、郵便切手類取拂簿

第二十二條 學校長ハ物品檢閲委員長一名委員若干名ヲ職員中ヨリ任命シ毎年本校所有物品ノ検査

ヲナサシムルモノトス

第二十三條 檢閲ヲ分チテ定期及臨時ノ二トナシ定期檢閲期ハ毎年度一回之レヲ行ヒ臨時檢閲ハ必

要ト認メタル場合ニ臨時施行スルモノトス

第二十四條 物品檢閲委員ノ檢定スベキ事項左ノ如シ

一、物品保管ノ適否

一、備品使用ノ適否

三、消耗品消費ノ適否

四、物品缺損ノ有無

第二十五條 物品檢閲ノ際ハ在庫品ニ付テハ物品會計官吏、使用中ノ物品ニ付テハ物品監守者又ハ

物品取扱王任者其ノ點檢ヲ受クベキモノトス

第二十六條 物品檢閲委員長ハ其檢閲ヲ終リタルトキハ檢閲ノ狀況ヲ學校長ニ申報スベキモノトス

但シ意見アルトキハ附記スルコトヲ得

七 御眞影竝勅語謄本奉護規程

第一條 御眞影竝勅語謄本ハ白木ノ箱ニ納メテ奉安庫ニ奉安ス

奉安庫ハ校長室ニ安置ス

第二條 奉安庫ノ鍵ハ内扉用外扉用ノ二個ヲ一組トスルモノニ組ヲ備フ各別ニ鍵袋ニ納メテ校長之

ニ封印シ一組ハ庶務主任ニ於テ、一組ハ宿直員ニ於テ之ヲ保管ス

第三條 宿直員、巡視ハ奉安庫ノ奉護ニ特ニ注意スベシ

第四條 宿直員交替スルトキハ奉安庫外扉ノ鎖鑰及鍵袋ノ異常ノ有無ヲ檢シテ之ヲ授受スベシ

- 第五條 校長ハ毎月一回第一月曜日ニ奉安庫ヲ開キテ 御眞影並勅語謄本ノ異常ノ有無ヲ檢ス
- 第六條 御眞影ハ式日ニハ硝子板ヲ嵌メタル白木ノ額面ニ納メテ式場（講堂）ノ正面ノ奉掲室ニ奉掲シテ奉拜ス
- 第七條 非常變災ノ場合ニハ奉納箱ノ儘奉選用袋ニ納メ左ノ奉遷所ニ奉遷ス
- 第一奉遷所 山口高等商業學校奉安所
- 第二奉遷所 山口縣立山口高等女學校奉安所

八 職員服務規程

第一章 職員ノ服務

- 第一條 職員ハ出勤時間前ニ登校スベシ
- 第二條 事務繁劇若クハ至急處理ヲ要スルモノアルトキハ執務時間外又ハ休日ト雖モ服務スベシ
- 第三條 疾病其ノ他已ムヲ得サル事故ニ因リ出勤シ難キトキハ出勤時限前ニ其ノ事由及日時ヲ届出ツヘシ
- 但シ疾病ノ爲缺勤七日以上ニ涉ルトキハ醫師ノ診斷所ヲ添ヘ届出ツベシ

- 第四條 出勤中發病其ノ他已ムヲ得サル事故ノ爲退出セントスルトキハ其ノ事由ヲ記シ届出ツベシ
遅刻シタルトキモ亦同ジ
- 第五條 父母ノ祭日（法事）ニ休暇ヲ要スルモノハ其ノ旨前日中ニ届出ツベシ
- 第六條 服忌ヲ受クルトキハ死者ノ氏名及死亡日、死者トノ續柄並内規ニヨル服忌期日ヲ記シ届出ツベシ
- 第七條 轉地療養、墓參其ノ他已ムヲ得サル事故ノ爲旅行セントスルモノハ其ノ事由、旅行日數及旅行先ヲ詳記シ校長ノ許可ヲ受クベシ但シ轉地療養ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルコトヲ要ス
- 第八條 賜暇中若クハ休業中旅行セムトスルモノハ旅行日數及旅行先ヲ記シ出發前届出ズベシ
- 第九條 出張ノ命ヲ受ケタルモノハ出發及歸校ノ際其ノ旨ヲ届出デ且歸校後逗留ナク復命書ヲ差出スヘシ但シ簡單ナル事項ハ口頭ヲ以テ復命スルコトヲ得
- 第十條 新任者ハ即日宿所ヲ届出デ一週間以内ニ履歷書ヲ差出スベシ
- 第十一條 戶籍ニ異動（族籍、氏名、本籍變更等）アリタルトキハ其ノ都度届出ツベシ
- 第十二條 官廳其ノ他ヨリ本校ヲ經由セスシテ辭令書ヲ受ケ其ノ事項ノ履歷上ニ關係アルモノハ其ノ都度届出ツベシ
- 第十三條 轉任免官休職等ノ場合ニ於テハ擔當事務及物品ノ引繼書ヲ作り引繼クベシ

第十四條 校務ニ關スル事件及書類ハ校長ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ他人ニ開示シ若クハ閱覽セシムルコトヲ得ズ

第十五條 非常變災アルトキハ速ニ登校シ臨機ノ處置ヲナスベシ

第十六條 職員ハ校長ノ許可ヲ受クルニ非ザレハ報酬ノ有無ヲ問ハズ他ノ職務ニ從事スルコトヲ得ズ

第二章 當直員ノ服務

第十七條 當直勤務ハ事務當直及學寮當直トス

第十八條 事務當直ハ書記及雇員輪番ヲ以テ一名宛服スベシ

第十九條 學寮當直ハ生徒課勤務ノ職員輪番ヲ以テ一名宛服スベシ

第二十條 當直時間ハ左ノ如シ

一、平日ハ退出時限ヨリ翌日ノ登校時限マデ

二、休日ハ平日ノ登校時限マデ

退出登校ノ時限ハ執務時間終始ノ規程ニ從フ

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ當直ヲ免ス

一、出張中出張ノ前日、出張先ヨリ歸校ノ翌日

二、賜暇中

三、忌引中

四、疾病其他ノ事故ニ因ル缺勤中

五、新任者着任ノ日ヨリ七日間

六、以上ノ外校長ニ於テ除直ノ必要アリト認メタルトキ

第二十二條 事務當直ノ任務ハ概ネ左ノ如シ

一、御眞影竝勅語謄本、奉安庫及校舍各室ノ鎖鑰ヲ管守スルコト

二、巡視小保等ヲ監督シ校舍内外ノ取締ヲ爲スコト

三、往復物件ヲ處理スルコト

四、火器其ノ他火災ノ虞アル器物ニ對シ特ニ注意スルコト

第二十三條 學寮當直ハ學寮ノ管理及取締ニ任ジ寮内一切ノ事務ヲ處理スヘシ

第二十四條 當直者ハ勤務中學校ヲ離ルルコトヲ得ズ

第二十五條 當直者ハ其ノ任務ニ關シ互ニ助力ヲ求ムルコトヲ得

第二十六條 當直中出火、近火ハ勿論風水、震災、盜難等非常ノ異變アルトキハ直ニ校長ニ急報ス

ルト同時ニ臨機ノ處置ヲ爲スベシ
 第二十七條 當直ノ服務ニ關スル細則ハ事務當直ニ在リテハ庶務課長學寮當直ニ在リテハ生徒課長
 之ヲ定ム

九 文書處理規程

- 第一條 本校ニ到達シタル文書ハ庶務課ニ於テ之ヲ接受シ左ノ各號ニ依リ取扱フベシ
- 一、親展文書ハ封緘ノ儘宛名ニ配付スルコト
 - 二、前號以外ノ文書ハ總テ之ヲ開封シ送付簿ニ記號、番號、月日、發翰廳名及件名ヲ記入シ直ニ
 主掌分課ニ配付シテ其ノ證印ヲ徵スルコト
 - 三、二分課以上ニ關聯スル文書ハ關係ノ重キニ從ヒ之ヲ配付スルコト
- 第二條 庶務課ニ於テ親展文書ノ回付ヲ受ケタルトキハ直ニ文書整理簿ニ登記シ記號、番號及月日
 ヲ記入シ前條ノ例ニ依リ配付ヲ爲スベシ
- 第三條 左ノ文書ハ庶務課ヲ經由セズ主掌分課ニ於テ之ヲ接受スルコトヲ得
- 一、入學志願者名票
 - 二、生徒ノ宿所、入學、退學及缺席等ノ諸願屆書類

- 三、其ノ他常例アル輕易ノ事件ニ關スル書類
- 第四條 配付ヲ受ケ又ハ接受シタル文書ハ速ニ之ヲ調査シ處分案ヲ提出スベシ但シ處分ヲ要セズト
 認ムルモノハ之ヲ供閱スベシ
- 事件ノ種類ニ依リ直ニ處分案ヲ提出スル能ハザルトキハ校長ノ指揮ヲ受クベシ
- 第五條 決裁濟ノ文書ハ主掌分課ニ於テ決裁年月日ヲ記入シ速ニ處理ノ手續ヲ爲スベシ
- 第六條 發送ヲ要スル文書ハ主掌分課ニ於テ左ノ各號ニ依リ庶務課ニ、執務時間以外ニ發送ヲ要ス
 ル文書ハ當直ニ回付シテ其ノ證印ヲ徵スベシ
- 一、親展文書ハ文書整理簿ニ登記シ封緘ノ上、封皮ニ記號、番號ヲ記載シ回付スルコト
 - 二、前號以外ノ文書ハ文書整理簿ニ登記シ封緘ノ上回付スルコト
- 第七條 庶務課ニ於テ文書ヲ發送セムトスルトキ若ハ發送ヲ終リタルトキハ左ノ各號ニ依リ取扱フ
 ベシ
- 一、文書ヲ發送セムトスルトキハ郵便切手類受拂簿ニ月日、受信者發信者及郵便切手葉書ノ枚數、
 料金高等ヲ登記シ取扱者檢印スルコト
 - 二、發送ヲ終リタルトキハ文書整理簿ニ發送月日ヲ記入シ發送主任者證印ノ上主掌分課ニ還付ス
 ルコト

第八條 事件ノ完結シタル文書ハ主掌分課ニ於テ文書整理簿ニ登記シ文書編纂規定ニ定ムル所ニ從ヒ編纂シテ之ヲ保存スベシ

十 文書編纂保存規程

第一條 本規程ニ於テ文書ト稱スルハ圖書以外ノ記録簿冊等一切ノ書類ヲ謂フ

第二條 文書編纂ノ種類及保存期間ハ別表ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ經伺ノ上之ヲ改廢シ若ハ別ニ種類ヲ設クルコトヲ得

第三條 文書ハ左ノ各號ニ依リ編纂スベシ

一、事件完結ノ順序ニ依リ曆年(會計ニ關スルモノハ會計年度)ヲ以テ分界トス但シ紙數ノ多寡ニ由リ一年分ヲ便宜分綴シ又ハ數年ヲ合綴スルコトヲ得

二、卷首ニ件名及索引丁數ヲ掲記シタル目錄ヲ附シ其ノ表紙ニ名稱年若ハ年度保存期間及主掌課名ヲ記載シ數冊ニ分綴セシモノハ數字ノ符號ヲ附シ尙檢索ヲ容易ナラシムル爲前部切斷面ニ名稱、年若ハ年度保存期間ヲ標記スルコト但シ保存期間三年ニ屬スル文書ニハ目錄ヲ附セサルコトヲ得

三、圖表類ニシテ合綴シ難キモノハ袋又ハ筒ニ納メテ名稱ヲ標記シ其ノ所在ヲ目錄ニ附記スルコトヲ得

ト

第四條 前條ニ依リ編纂シタル文書ハ文書壹帳ニ登錄シテ之ヲ一定ノ場所ニ藏置スベシ

第五條 保存期間ハ文書完結ノ翌年ヨリ起算ス但シ會計年度ニ屬スルモノハ翌年度ヨリ起算スベシ

第六條 保存期間ヲ了リ若ハ未ダ了ラザルモ保存ノ必要ナシト認メタル文書ハ經伺ノ上之ヲ會計課ニ引繼ベシ但シ一般ノ披閱ヲ避クベキ文書ハ引繼前經伺ノ上相當ノ措置ヲ爲スヘシ
前項ノ引繼ヲ了リタルトキハ文書壹帳ニ廢棄ノ年月日ヲ記スベシ

主掌課	編纂種類	保存期間
教	令達及通牒	永久
	試験成績表	二十年
	教科用圖書	十五年
	入學者選抜試験及入學	五年
	外國人、臺灣人、朝鮮人特別入學	五年
	大學進學	五年
	入學志願者名票	三年
	入學志願者寫眞	三年
	入學者選抜試験問題	三年

備人出勤簿	三	五	年	年
會計雜件	三	三	年	年
和漢圖書臺帳	永	永	久	久
洋書臺帳	永	永	久	久
寄購圖書臺帳	永	永	久	久
和漢圖書分類目錄	永	永	久	久
洋書分類目錄	永	永	久	久
外國雜誌分類目錄	三	三	年	年
圖書貸付簿	三	三	年	年
註文圖書留簿	三	三	年	年
圖書借覽證	三	三	年	年
圖書閱覽證	三	三	年	年
消耗品受拂簿	三	三	年	年
圖書雜件	三	三	年	年

十一 非常警備規程

- 第一條 火鉢及暖爐等使用中ハ特ニ注意シ終業竝職員退校後及使用後ハ直チニ火氣及焚灰ヲ取除カシメ當直員及巡視ハ構内各室ヲ定時巡廻シ火元ニ注意スベシ
- 第二條 學寮ニ於テ晝間授業中及寮生不在ノ際ハ小使ヲシテ時々各室ヲ巡廻シ夜間ハ宿直員及小使ヲシテ學寮内ヲ定時巡廻シ火元ニ注意セシムベシ
- 第三條 炊事場浴室ノ火氣ハ炊夫長ヲシテ其ノ始末ヲ爲サシメ夜間ハ巡視ヲシテ特ニ注意セシムベシ
- 第四條 取除キタル火氣及焚灰ハ所定ノ場所ニ持行キ其ノ始末ヲ爲サシムベシ
- 第五條 常ニ電燈線及瓦斯管ニ注意シ、漏電、發火ヲ豫防スルタメ毎年少クモ一回ハ技術者ヲシテ檢査セシムベシ
- 第六條 煙突ハ毎月少クモ一回宛掃除セシムベシ
- 但シ「ストーブ」用煙突ハ其ノ使用期間毎週所定ノ回数掃除セシムベシ
- 第七條 發火又ハ爆發ノ虞アル物品ノ保管ハ其ノ取扱者ヲシテ特ニ注意セシムベシ
- 第八條 何人モ倉庫内及其ノ附近ニ於テ喫煙スベカラズ

第九條 灰捨場ハ之ヲ一定シ置キ灰ヲ棄テタル後モ時々検査スベシ

第十條 校内ノ失火又ハ近火ニシテ延焼ノ虞アル場合之ヲ認メタルモノハ臨機ノ處置ヲナスト同時ニ庶務課ニ急報スベシ庶務課員ハ直ニ號鐘ヲ連打セシメ一般ニ知ラシムルト共ニ警察署ニ通報スベシ職員退校後ハ當直員ニ急報シ當直員ハ臨機ノ處置ヲ爲スト同時ニ號鐘ヲ連打シ且學校長、警察署、生徒主事、學寮宿直、近傍ノ職員ヘ電話又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ急報スベシ

火災ノ場合ハ「火災報知専用電話」ヲ利用スベシ

第十一條 前條ノ場合ニハ本校職員生徒ハ直ニ駆付ケ本規程ニ示ス任務ニ従事スベシ

第十二條 授業時間中及第十條ノ變災アルトキハ號鐘ヲ連打スルヲ以テ直ニ授業ヲ停止シ大要左記ノ部署ニ依リ従事スベシ

消防隊編成表	
區分	人員
司令	直員(生徒課學寮宿)
器	
具	
任務及手記	<ul style="list-style-type: none"> 一、司令ハ火災ノ場所ヲ確メ風向消防用水等ヲ指示スベシ 二、消防組長ハ指示スベシ 三、司令ハ風向ヲ指示スベシ 四、司令ハ消防組長ニ指示スベシ 五、司令ハ警備班長ニ指示スベシ 六、司令ハ警備班員ニ指示スベシ 七、司令ハ警備班員ニ指示スベシ
摘要	<ul style="list-style-type: none"> 一、職員登校中火災ノ場合ニ於ケル司令ハ生徒主事

消防隊編成表	
區分	人員
司令	直員(生徒課學寮宿)
器	
具	
任務及手記	<ul style="list-style-type: none"> 一、司令ハ運搬班長ニ運搬地點其ノ他必要ナル事項ヲ指示スハシ 二、司令ヲ補助スベシ 三、消防組ニシテ校内ノ火災ヲ知リタルトキハ直ニ消防庫前ニ駆付ケ司令ヲ指揮ヲ受クベシ 四、備付ノ唧筒又ハ携帶消火器、バケツ等ヲ使用シ專ラ消火ニ従事スベシ 五、消防組ニシテ校内ノ火災ヲ知リタルトキハ最寄消火器及其ノ他消火材料ヲ携行現場ニ駆付ケ消火止ムベシ 六、消防組長ハ風向等ヲ顧慮シ延焼ノ虞アル建物ニハ必要ナル手當ヲナスベシ 七、警備班長ハ御眞影、勸語謄本校旗ノ奉護ノタメ護衛ヲ庶務課ニ差出スベシ 八、各門ヲ警備シ表門ニハ受付ヲ設ケ但シ筆記具及其他ノ設備ハ庶務課員又ハ宿直員ニ於テナスベシ 九、運搬班長ハ擔荷、ズツク製袋等ヲ使用シ書類及物品ヲ安全ナル地點(司令ニ於テ指示シタル地點)ニ移スベシ 十、運搬ハ火元ニ近キ所ヨリ始メ貴重ナル書類及物品ヲ先トナスベシ
摘要	<ul style="list-style-type: none"> 一、職員登校中受付ノ設備ハ庶務課ニ於テスベシ

非常警備規程

救護班	長一、 (體操教官)	一、擔架	二
	北寮生五名		
備考	一、校内火災ニ際シテハ居合スモノハ防火組ニ關係ナク最寄消火器及其ノ他ノ消火具ヲ携行現場ニ駐付ケ大事ニ至ラサル前ニ消シ止ムベシ		

各課ニ屬セサル職員ハ臨機各班ニ應援スベシ

第十三條 生徒主事ハ第一學期中適當ナル時期及其ノ他必要ト認メタル後ニ於テ消防ノ練習ヲ行ハシムベシ

第十四條 校内變災ノタメ御眞影ヲ奉遷スルノ必要ヲ認メタルトキハ上席職員ハ庶務課員ト共ニ直ニ御眞影、勅語謄本、校旗ヲ山口高等商業學校又ハ山口高等女學校ニ奉遷シ警固スベシ

第十五條 危急ノ場合前各條ニ依ルコト能ハザルトキハ各自臨機獨斷專行スベシ

第十六條 本校職員住宅ノ火災及近火ト認メタルトキハ庶務課員又ハ當直員ハ其ノ情況ニ依リ臨機ノ處置ヲナスベシ

第十七條 學校外ノ火災ノ場合學寮消防隊ノ出勤ハ生徒主事ノ命ヲ受ケ學寮當直員ニ於テ指示スベシ

第十八條 寮生ハ登校及外出ノ際ハ自室ノ窓ヲ閉ヂ火氣ニ注意スベシ

第十九條 室内所定ノ場所以外ニ於テ喫煙スベカラズ

第二十條 會計課ハ非常用具ノ備付及保管ノ責ニ任ジ定時檢査ヲ勵行シ其ノ所在及用法等ヲ周知セシムベシ

第二十一條 非常持出書類ノ容器ニハ豫テ見易キ箇所ニ「非常持出」ト朱書シ置クベシ

第二十二條 非常用具竝同備付場所左ノ如シ

品目	員數	備付場所
消防唧筒及附屬品共	二	消防器具庫
ズツク製桶	四〇	同
梯子	四間 二二一	同 同 自轉車置場
消火栓用ホース	九	各消火栓ノ位置 (中庭、講堂西ノ中庭、 博物教室、物理教室、 南寮、中寮、北寮、食堂)
高張提灯	四	消防器具庫 本校宿直室 二二
小提灯	一五	本校宿直室 消防器具庫 二〇五

防火水桶	網	鳶	鋸	木	バ	消	擔	ズ
					ケ	火	荷	ツ
一三	一	一〇	(中)二	(大)二	一六	一七	五	五
本校	同	消防器具庫	宿直室	小使室	本校	學寮	宿直室	各課事務室
學寮 三 (南寮、中寮、北寮各一)					一〇 (生徒集會所、生徒食堂、生徒控所、會計倉庫、講堂、物理教各一)	九 (南寮、中寮、北寮、各二、學寮宿直室、學寮小使室、炊事場 各一)	八 (物理教室、化學教室、博物教室、生徒合宿所、生徒集會所、生徒食堂、共濟會賣店、小使室、各一)	

第二十三條 消火器ハ毎年十一月末日マデニ詰替ヲナシ且時々試験ヲ行ヒ差支ナカラシム

第二十四條 火災以外ノ變災ニアリテモ本規程ヲ準用スベシ

○職員

(昭和十五年六月調)

校長

文學士 藤本萬治 山口

教授

論理、心理	評議員	文學士	若木貞一	山形
數學	文學士	田淵一	香川	
國語	文學士	滿井信太郎	千葉	
歷史、地理	文學士	匹田親直	大分	
植物、動物、自然科學(兼)	文學士	兒玉親輔	東京	
獨語	文學士	金尾音美	山口	
化學	文學士	松井正夫	新潟	
國語	文學士	佐藤榮吉	千葉	
哲學概説、獨語	文學士	石村忠次	富山	
獨語	文學士	米澤直人	山口	

職員

動植物實驗
教練

山口商業學校教諭
陸軍歩兵中尉

書記

池野 武吉
田茂 治山
大分

生徒主事補

柳田 善治
石川 潤吉
千田 藤吉
岡田 靜雄
渡邊 功山
林匡 亮山
侯賀 助一
山

事務囑託

平井 太郎
山

雇

秦小 幡 亦 助 一
山 山 口 口

文科第三學年一組
文科第三學年二組
理科第三學年一組

學校醫
學級主任

醫學博士
伊勢良男
東京

教授 佐藤 三郎
教授 石村 忠次
教授 匹田 直

岩根 茂山
上田 增尋
安田 道夫
木梨 恒雄
作間 勘三
柳屋 幸男
山崎 博山
世木 收山
西村 輝山
木村 三山
廣島

配屬將校	講師	教授	校長	備外國人	講師	講師	講師	教授	教授	書記	助教	外國人	外國人	外國人
自昭和十一年八月二十五日	自昭和十一年十月二十五日	自昭和十一年三月二十五日	自昭和十三年四月二十五日	自昭和十三年三月二十五日	自昭和十三年五月二十五日	自昭和十三年三月二十五日	自昭和十三年三月二十五日	自昭和十三年三月二十五日	自昭和十三年三月二十五日	自昭和十三年三月二十五日	自昭和十三年三月二十五日	自昭和十三年三月二十五日	自昭和十三年三月二十五日	自昭和十三年三月二十五日
陸軍歩兵大佐	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士	文學士
出田剛介	早川要	橋本成文	中山文雄	小田常太郎	大田豐	黒須芳	上野榮雄	原田純藏	時政鐵之助	ジョン・ウキルソン	山本	山口	英國	英國
北海道	山口	埼玉	三重	山口	山口	山口	東京	熊本	山口	瑞典	山口	英國	英國	英國

教授	講師	配屬將校	校長
自昭和十四年四月十六日	自昭和十三年七月三十一日	自昭和十四年八月十一日	自昭和十三年五月二十五日
退官	解囑	解囑	浦和高等學校長ニ轉任
工學士	陸軍歩兵准尉	陸軍歩兵大佐	文學士
土田安	内田義雄	宮本一吉	齋宏索
長野	廣島	廣島	宮城

○生徒

(昭和十五年六月調)

一生徒氏名

第三學年

文科一組 (三十人)

岩本次郎	兵庫神戶第一	卒
伊藤孝治	山形縣	卒
魚住徳治	熊本	卒
河村次郎	山形縣	卒
齋藤正雄	島根津和野	卒
佐々木武義	大分天王寺	卒
重田吉男	廣島大邱	卒
田中紀二	山口東京府立	卒
中村良亮	山口德山	卒

井關清	山形縣	卒
宇多村保男	山形縣	卒
河内壽昭	山形縣	卒
桑原茂	島根津和野	卒
作間淑郎	山形縣	卒
西郷正雄	山形縣	卒
高村忠也	山形縣	卒
坪郷敏	山形縣	卒
二階堂猛	新潟縣	卒

文科二組 (二十七人)

岩見三男	兵庫大邱	卒
宇美嘉郎	三重福岡	卒
奧谷博俊	三重天王寺	卒
大空良利	山口舞鶴	卒
川北滋	京都	卒
久保研一郎	山口宇部	卒
白草宥現	山口防府	卒
中岡毅郎	大阪今宮	卒
藤澤信淵	廣島	卒
朴基淵	平安北道高城第一	卒

上田孝治	山口德山	卒
小川清	山口德山	卒
奧村明	和歌山	卒
大田二郎	和歌山	卒
櫻田武男	山形縣	卒
篠山豐	山形縣	卒
高原有年	山形縣	卒
西本義久	山形縣	卒
本多清	福岡	卒
三井茂樹	山口	卒

松井徹夫	山口	卒
松岡正	山口	卒
三船通雄	岡山津和野	卒
村杉哲	千代田	卒
吉富三	山形縣	卒
李鏡龍	平安南道平壤第二	卒

元山俊彦
山口平壤
山口下關
山口修
山澤雅勝
山口善一
大坂住吉
江原道高普
江原道第一
柳在佑

理科

(三十二人)

秋本春美
安藤勝明
宇津重敏
川添信明
田中清信
高木修清
中下讓一
林谷良夫
深谷良夫
藤井達夫
榊友厚
村重直

淺田善司
入江恒夫
小川勝一
滋野吉廣
宅野五郎
寺前嘉三
中前道輔
廣橋勉
藤村智一
松田公扶
前田和雄
森脇甲介

森田辰男
山尾義則
山口下關
山口修
奈良畝傍
山口下關
山口修

柳澤幸雄
山根幸雄
山村卓美
吉村卓美
李桂秀

理科

(二十九人)

有馬和雄
阿武至朗
石谷五郎
岩井廣好
岡田毅雄
加藤時雄
黃藤雲裳
齊藤敏夫
佃重發
利重五郎
東儀高郎
長谷川洋

山下元夫
吉武有真
賴尊祺之助
渡邊清

平安南道平壤第二
福岡修猷館
山柳井
山口柳井
山口東京府立
山口第一府
山口防府
山口防府
兵庫第三神戶
和歌山和歌山
山鏡南道咸興
咸鏡南道咸興
山鏡南道咸興
兵庫明石
兵庫明石
山鏡南道咸興
福永一郎

福間誠吾 山口徳山 卒
藤野州弘 大坂堺 卒
山根忠雄 山口萩 卒

第二學年

文科

(三十五人)

淺田茂雄 山口徳山 卒
伊藤穰治 山口高津 卒
岩田嘉幸 大坂堺 卒
緒方彰彰 大分大分 卒
金重泰 慶尚南道高水 卒
久保田三郎 山口防府 卒
榮敏行 鹿兒島大島 卒
住吉君彦 山口奉天第一 卒
瀧澤強毅 栃木宇都宮 卒
瑞岡孝爾 山口豊浦 卒
辻岡尚之 大坂八尾 卒

福山精三郎 卒
村田直 卒

東京奈良 卒
福岡宇部 卒

池端外茂良 石川大連 卒
井上弘明 愛知公立東州 卒
上原偉男 兵庫尼崎 卒
河内豊 兵庫山口 卒
國永英雄 山口山口 卒
小岩英雄 兵庫第三神戶 卒
末岡清志 山口京城公立 卒
高橋成章 山形元山公立 卒
田中隆文 香川三豊 卒
張秋國雄 臺中第一 卒
中岡武彦 山口岩國 卒

文科

二組

(三十三人)

中川朝夫 山口山口 卒
中原洋三郎 山口山口 卒
藤本徹 山口修猷館 卒
松屋幹三 山口大連 卒
三好誠之 山口萩 卒
義始繁人 山口岩國 卒
李昌圭 慶尚南道東萊公立 卒

中島正雄 山口山口 卒
藤井貞雄 山口徳山 卒
文方欽 全羅北道全州北 卒
水本均 愛媛宇部 卒
宮路浩一 新潟岐阜 卒
吉野徹之助 山口北野 卒

岐阜第二神戶 卒
千葉成東 靜岡第三神戶 卒
小倉一郎 慶尚南道豊浦 卒
片倉英奎 岡山湘南 卒
金藤叡三 近藤正久 山口豊浦 卒
寶邊正久 山口豊浦 卒
田中恒朗 山口豊浦 卒
永井雅晴 山口天部 卒
萩原壽雄 山口天王寺 卒

申永	古賀	角池	尾池	岩本	糸永	池田	青木	渡邊	米田	山近	矢部	船木	福田	弘津	原通
信生	清隆	俊吉	勝之助	健次郎	涉	武志	理科	賢次郎	和歌山	福岡	岡山	山口	山口	山口	山口
琦	生	隆	吉	助	郎	志	一組	薫	粉河	鞍手	第一岡山	山口	山口	山口	山口
京畿道	福岡	山口	香川	山口	山口	山口	福岡	岐阜	和歌山	福岡	岡山	山口	山口	山口	山口
京畿公立	豐浦	門司	茨木	宇部	小倉	徳山	修猷館	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒

(三十六人)

杉本	佐々木	木村	岡村	齋村	稻用	伊藤	赤沼	和田	吉田	山縣	村井	藤澤	廣瀬	林喜
仁彌	太	信一	直彦	貞亮	養二	甫彦	利彦	定一	夫望	欣太郎	善郎	昇	喜久三	三
滋賀	山口	福岡	山口	香川	大分	福岡	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口
京畿公立	萩	鞍手	山口	丸龜	池田	豊浦	防府	大連第一	大連第一	防府	徳山	麻布	新井	柳井
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒

小林	北岡	小野	今西	伊藤	阿川	横田	森澤	森江	水川	古川	西村	茶谷	平谷	武田	鈴木
鐵男	福平	謙治	平八郎	智夫	孝行	健博	六郎	一強	潤太郎	眞平	仁	博	德	達	三
新湯	兵庫	廣島	兵庫	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口
修猷館	山口	吳第一	尼崎	豊浦	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒

(三十八人)

佐伯	北島	小野	浦上	井上	荒川	吉田	山縣	森永	三戸	堀本	福田	中村	田中	田中	角達
富士雄	憲之	百之助	修三	宣夫	洋	俊一郎	恂	茂行	宣行	清治郎	吉明	俊夫	隆三	八郎	三郎
福岡	山口	岡山	京都	福岡	長崎	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口
糸島	大連	公立第一	萩	鞍手	下關	長崎	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒

小林康男	山口尾道	卒
神保良太郎	山口麻布	卒
瀧口始	香川高松	卒
田邊嘉夫	山口松	卒
常俊章	大阪北野	卒
林俊介	山口萩	卒
平野昂	山口岩國	卒
松下精一郎	熊本	卒
水谷嘉隆	三重釜山	卒
村田顯	山口	卒
山口四郎	山口	卒
吉田正規	山口	卒
李東鮮	慶尚南道東萊公立	修

第一學年

文科一組

(四十人)

篠原俊雄	山口山口	修
蘇鴻章	臺南嘉義	卒
卓基春	平安北道平壤第二	卒
張興和	新竹新竹	卒
林謹也	山口山口	卒
平木文雄	福岡三池	卒
藤永敏生	山口豐浦	卒
松浦富久	山口八幡	卒
三吉康郎	山口	卒
八木正和	大阪堺	修
吉崎司郎	山口柳井	卒
吉村克郎	兵庫小野	卒
渡部哲郎	廣島吳第二	卒

石川克行	福岡仁川公立	修
伊藤三良	東京麻布	卒
岡村喜代治	山口山口	修
大谷壽夫	島根濱田	卒
金映權	咸鏡北道京畿公立	卒
金漢基	全羅北道全州北公立	卒
金相澄	平安南道平壤師範	卒
金聲	咸鏡南道咸南公立	卒
小林浩	茨城昭南第一	卒
齊藤增喜	熊本熊本	卒
坂本一彦	長崎光州東公立	卒
水津朗	山口山口	卒
多田公熙	山口山口	卒
中谷正生	福岡若松	卒
南部一榮	福岡新京	卒
政光修	福岡下關	卒
村田馨	山口山口	卒

泉行雄	香川岸和田	卒
岡田信雄	福岡築上	卒
大橋義郎	岐阜大垣	卒
郭商洙	京畿道京畿公立	卒
角英明	廣島灘	卒
久和勝彦	長崎對馬	卒
神原啓三	岡山天城	卒
康鳳植	平安南道海州東公立	卒
小淵常道	佐賀山口	卒
相賀謹彌	岡山山下關	卒
沈貞基	黃海道海州東公立	卒
高洲健三	山口山口	卒
田中長雄	靜岡甲陽	卒
中原信一	山口山口	卒
藤谷孝男	山口柳井	卒
松田禮一	群馬第一神戶	卒
森下和彦	德島山口	卒

古澤大介	平岩不二男	張錫萬	武居邦芳	重藤和正	權寧運	小西誠治	河村十穗	川村健一郎	片山軌四夫	大塚喜明	後坂士正	乾山正雄	秋山寬一	吉武寬	森福省一
秋田新卒	香川景福公立卒	京畿公立卒	山口德山卒	福岡原卒	慶尚南道錦城卒	山口大津卒	東京第一卒	兵庫灘卒	大分大分卒	山分城卒	京都奈良卒	佐賀嘉穗卒	文科二組	山口德山卒	山口大津卒
兵頭清志	藤岡寬通	德岡靜雄	田中德海	清水師保	坂倉正義	黃啓周	木原啓允	河野勇	加藤尚	大西皓	江頭洋治	岩崎一夫	天野正	和卓兒	山中久
愛媛宇和島卒	德島德島卒	奈良畝傍卒	福岡鞍手卒	福岡津卒	山口修猷館卒	山口養生卒	島根津和野卒	埼玉門司卒	山口仙臺第一卒	佐賀佐賀商業卒	山口德山卒	山口萩卒	和歌山第二神戶卒	長崎島原卒	長崎島原卒

文科

(四十人)

理科

(四十人)

堀田敏	堀吉一	松本正資	宮本隆	谷坂牧雄	安原日出輝	逢澤幸夫	磯村純一	江本良三	越智晃	沖永信行	清原武志	國廣志	榎原純哉	鈴木次郎	田添信一
滋賀第五卒	山口安下庄卒	山口新卒	和歌山新卒	山口高田卒	平安北道高田卒	岡山第一卒	東京麻布卒	山口德山卒	島根津和野卒	福岡小倉卒	福岡築上卒	大阪豐中卒	愛知成興公立卒	東京山崎卒	熊本第三卒
細谷好甫	町原俊雄	三神滿雄	村田徹	安本芳郎	横山修一	石田恒夫	岩瀨平夫	枝野和夫	大平一夫	小原信夫	桐座正信	後藤敏一	眞宅正博	谷禎二	張健三
群馬駒込卒	山口萩卒	宮城大連卒	山口明治學院卒	山口安下庄卒	宮城高鍋卒	廣島京城公立卒	山口德山卒	島根濱田卒	廣島修道卒	東京府立第八卒	大阪住吉卒	廣島第一卒	山口宇部卒	德島德島卒	平安北道五山卒

北川秀吉	金時鏞	上野山和男	井波章	石川清	荒瀬晨	觀	森川隆次	守分正	水田榮三郎	眞重直	牧野善輔	牧野末廣	福富泰雄	濱崎次雄	土本邦彦
福岡嘉穂	咸鏡南道徵文	和歌山和歌山	東京大連第二	島根麻植	山口防府	京畿道京畿公立	千葉成東	岡山第一岡山	岡山第一岡山	山口山口	京都第一	大阪堺	山口宇部	山口柳井	廣島柳井
修	卒	卒	卒	卒	修	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒
近藤信一	鞠塚豪	江崎敏	上田敏行	岩本吉勝	案野高光	若佐修三	山田渡	森本泉	箕田積夫	宮崎敏夫	松井一雄	丸谷久夫	星子幸男	福井十一郎	繩田伍七
岡山山口	全羅南道景福公立	福岡大連第二	山口豐浦	沖繩沖繩第二	山口山口	島根濱田	京都勝所	山口防府	福岡小倉	山口下關	京都第二	福岡豐津	熊本芝野	兵庫龍野	山口宇部
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒

理科二組 (四十人)

天野裕敏	足立謙二	李台現	吉屋俊作	森脇隆夫	三輪有恒	箕浦清成	藤田健一	廣岡良夫	原田良晃	長谷敏次	內藤修三	寺浦俊雄	高橋雄	白石敏彦	久保敏彦
福岡東筑	京都福知山	咸鏡南道永生	山口防府	山口防府	長野諏訪	三重八尾	兵庫第二神戸	長野野津	山口萩	山口萩	愛知刈谷	和歌山伊都	靜岡沼津	靜岡沼津	山口徳山
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒
池崎央	青木喬	廉永夏	葵開枝	山口史郎	村田憲太郎	宮武弘	松岡光貴	深谷淑治	東本勇治	橋本豊治	新居充曉	中川春雄	土屋充理夫	田中茂穂	佐熊純一
山口宇部	山口徳山	咸鏡南道永生	臺中州世羅	和歌山新宮	山口新宮	香川新義州公立	山口新宮	大阪住吉	山口住吉	山口住吉	徳島高津	廣島横須賀	山口下松工業	岡山高津	岡山龍野
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒

理科三組 (四十人)

李英環	余瑞雲	山口雄	松尾治	本多平三郎	藤井武志	信川昌一	利川昌仁	田邊昌信	末松英次	崔玉直	兒淵直哉	龜野迪也	河野也	大原武	太田弘一	今西一	伊藤一	藤一	伊藤一
咸鏡南道咸南公立	臺北州基隆	大阪今宮	島根津和野	愛知刈谷	岡山高梁	三重茨木	咸鏡南道咸南公立	兵庫第一神戶	福岡京城公立	全羅南道光州西公立	秋田龍山公立	長崎佐世保	市岡市岡	山口柳井	島根第二	兵庫第一神戶	山口岩國	山口岩國	山口岩國
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒
渡邊輝彦	山本正章	水田俊實	方田龍敏	藤田敏郎	日比智新	名和田智	武田哲雄	田中勳夫	齊藤勇	小西信哉	隈部知德	樂部知德	岡本新太郎	岡本嘉	尾縣嘉	飯島尚	飯島尚	飯島尚	飯島尚
山口修	鹿兒島	廣島吳第二	山口京都第一	咸鏡南道高敞	京都第一	和歌山新宮	山口宇部	熊本玉名	山口柳井	神奈川橫濱第二	京都第一	熊本熊本	臺南第二	山口山口	山口攻玉社	山口釜山公立	山口釜山公立	山口釜山公立	山口釜山公立
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒

二 生徒學年別人員

(昭和十五年六月一日調)

種別	第一學年		第二學年		第三學年		計
	甲類	乙類	甲類	乙類	甲類	乙類	
文科	三三	三六	三一	三二	二九	二五	九三
理科	三三	三六	三一	三二	二九	二五	九三
合計	六六	七二	六二	六四	五八	五〇	一八六
臺灣	一	一	一	一	一	一	六
朝鮮	六	六	五	五	四	四	三〇
合計	七	七	六	六	五	五	三六

三 生徒及卒業生本籍別人員表

(昭和十五年六月一日調)

道府縣	生徒		卒業生	
	文科	理科	文科	理科
北海道	一	一	一	一
北海	一	一	一	一
道	一	一	一	一
府	一	一	一	一
縣	一	一	一	一
合計	三	三	三	三

生徒及卒業者本籍別人員表

鳥	富	石	福	秋	福	山	青	岩	宮	長	岐	滋	山	靜
取	山	川	井	田	島	形	森	手	城	野	阜	賀	梨	岡
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1	1	3	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	4	
1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	5	2	2	7	
9	2	5	5	4	3	3	1	2	4	4	1	7	5	9
7	1	4	5	2	1	2	1	4	1	7	1	5	7	3
1	6	2	9	1	0	6	3	5	1	6	5	1	6	5

生徒及卒業者本籍別人員表

愛	三	奈	栃	茨	千	群	埼	新	長	兵	神	大	京	東
知	重	良	木	城	葉	馬	玉	湯	崎	庫	川	阪	都	京
1	1	2	1	2	2	2	2	2	3	5	1	7	2	2
4	3	2	1	1	2	1	1	1	2	9	1	1	8	7
5	4	4	1	2	4	2	2	3	5	1	4	2	1	9
9	9	1	5	6	7	6	5	3	2	3	6	0	8	4
1	3	8	9	3	8	6	1	6	7	1	8	5	3	5
2	2	1	7	0	8	1	4	1	3	6	1	1	3	7

五 在學中死亡者表

(昭和十五年六月一日調)

種別	中學				中學				計
	昭和十五年	昭和十四年	昭和十三年	昭和十二年	昭和十五年	昭和十四年	昭和十三年	昭和十二年以前	
理科	一七	二	一	一	一〇〇	五六	九	一	一八五
文科	一二	二	一	一	五五	三七	七	一	一一四
計	五	一	一	一	四五	一九	二	一	七一

四 昭和十五年入學者學歷別人員表

(昭和十五年六月一日調)

合計	臺灣		朝鮮		沖繩	
	計	一	計	一	計	一
合計	二〇五	一	一九	一	二〇五	一
臺灣	二五五	六	一六	一	二五五	一
朝鮮	四六〇	七	三五	一	四六〇	一
沖繩	一、四一六	六	五三	二	一、四一六	二
合計	一、四〇六	一〇	三八	二	一、四〇六	二
合計	二、八二二	一六	九一	四	二、八二二	四

鹿兒島	宮崎	熊本	佐賀	大分	福岡	高知	愛媛	香川	徳島	和歌山	山口	廣島	岡山	鳥根
一	一	三	三	二	一〇	一	二	三	二	四	九〇	五	六	五
一	一	五	一	三	二三	一	一	七	二	七	九三	一一	九	八
二	一	八	三	五	三三	一	三	一〇	四	一一	一八三	一六	一五	一三
一二	六	一一	一三	二四	七九	七	二一	一六	一三	一一	六八三	七八	二九	三四
八	六	一五	一〇	二四	七八	四	一二	二六	五	二〇	六七三	九四	三〇	三七
二〇	一二	二六	二三	四八	一五七	一一	三三	四二	一八	三一	一、三五六	一七二	五九	七一

在學中死亡者表

入學年月	死亡年月日	科學年類	氏名	本籍
大正八年九月	大正九年一月二十九日	文一甲	石村主計	山口
大正八年九月	大正九年八月三十日	文二乙	藤井裕人	山口
大正八年九月	大正十年五月五日	文三乙	藤井素行	山口
大正九年九月	大正十一年十二月三日	理三乙	松田到	大阪
大正十年四月	大正十一年九月六日	理二甲	西田勝	山口
大正十年四月	大正十二年三月九日	文二乙	平田強	山口
大正十年四月	大正十二年八月九日	理三甲	村田覺太	山口
大正十一年四月	大正十三年十二月十五日	文三乙	新井保芳	群馬
大正十三年四月	大正十三年十月一日	文一甲	倉山繁三	高知
大正十三年四月	大正十四年一月一日	理一甲	渡邊重	東京
大正十三年四月	大正十四年十月五日	理二乙	原田謙	山口
大正十五年四月	昭和二年三月二十六日	文二乙	富永太三郎	長崎
大正十四年四月	昭和二年七月十九日	文二甲	山本馨	山口
大正十五年四月	昭和二年十月十三日	理二甲	松生巖	山口

在學中死亡者表

大正十五年四月	昭和三年五月十日	文三乙	楡垣三郎	山口
昭和三年四月	昭和三年十二月十一日	文一乙	山中周三	滋賀
昭和四年四月	昭和四年九月十七日	理一乙	黃進	臺灣
大正十五年四月	昭和四年十一月十八日	理三甲	白石信彦	山口
昭和二年四月	昭和五年一月二日	文三乙	水島薰	神奈川
昭和五年四月	昭和五年八月七日	文一甲	田中了範	山口
昭和四年四月	昭和六年五月十三日	理二乙	住谷武一	兵庫
昭和五年四月	昭和七年三月九日	理二甲	光井泰城	山口
昭和五年四月	昭和八年一月二十日	理三乙	德田剛	山口
昭和六年四月	昭和九年九月八日	理三乙	石津素輔	山口
昭和七年四月	昭和九年九月二十四日	文三甲	石川浩	山口
昭和八年四月	昭和十一年四月七日	文三乙	村岡清一	山口
昭和九年四月	昭和十一年七月四日	文三乙	古川道雄	兵庫
昭和十年四月	昭和十一年八月二十六日	文二乙	山崎正人	山口
昭和十年四月	昭和十一年十月二十一日	文二甲	山本進	高知

昭和十年四月	昭和十一年十一月十日	文二乙	山本一郎	當山
昭和九年四月	昭和十一年十一月十一日	文三甲	木下長正	山口
昭和九年四月	昭和十二年二月二十五日	理三甲	田島傳憲	和歌山
昭和十年四月	昭和十三年三月二十三日	文二乙	重富	山口
昭和十二年四月	昭和十三年十月二十九日	理二乙	松尾正行	山口
昭和十三年四月	昭和十三年八月十五日	文一乙	三戶基明	山口
昭和十二年四月	昭和十四年八月 日	文三乙	島村貞策	熊本
昭和十二年四月	昭和十四年八月十五日	文三甲	久保田善則	山口

○卒業者

六、卒業者氏名 (五十音順)

大學卒業者ハ大學學部略稱ノ
下ニ學士ノ二字ヲ附記ス
死亡者ハ×ヲ附ス

第一回 大正十一年三月八日卒業 (百二十九人)

文科甲類 (三十五人)

大學學部	氏名	本籍	大學學部	氏名	本籍	大學學部	氏名	本籍
大學學部	矢野重雄	千葉	大學學部	井關安治	兵庫	大學學部	內田三郎	岡山
東法學士	大森寬一	山口	京經學士	河井明	大阪	東法學士	河島誠	兵庫
東法學士	河內山加祿	山口	東法學士	柴田春美	福岡	京法學士	澁江震策	長崎
東法學士	勝谷傳人	山口	東經學士	大部富士男	兵庫	東法學士	田中	俣島根
東經學士	田中益彦	山口	京經學士	土光義三郎	岡山	東法學士	中	潔京都
東法學士	長瀬英一	山口	東經學士	永松靜修	福岡	東法學士	出口改	廣島
京經學士	野美山巖	福岡	東法學士	萩原正雄	兵庫	東文學士	西村五郎	廣島
東京學士	早川次郎	兵庫	東法學士	日野幹三	廣島	東文學士	蓮元啓文	滋賀
			東法學士	日野幹三	廣島	東文學士	深井信男	山口

東經學士 岡田耕一	山口	京法學士 藤本傳治	山口	東法學士 堀則政	鳥取
東法學士 松崎隆一	山口	東經學士 松田治彦	大分	東法學士 溝部丑雄	山口
東經學士 水吉克己	香川	東文學士 村田毅美	山口	東法學士 山口庄助	大阪
東經學士 吉岡新太郎	廣島	東經學士 吉田祥彦	大分		

文科乙類

(三十五人)

東經學士×青木	卓	山口	東法學士 赤間文三	福岡	東法學士×淺海	寅	山口
東經學士 雨森清修	鳥根	東法學士 今井重太郎	兵庫	東經學士 市川清	東京		
東法學士×稻山	絢太郎	東京	東經學士 今井五郎	山口	東法學士 岩田孝	岡山	
東文學士 植村清二	大阪	東法學士 內田護文	山口	京經學士 宇野茂雄	山口		
東經學士 宇山兵士	山口	東法學士 圓藤正秀	德島	京文學士 大西貞一	山口		
東法學士 岡部義亮	山口	東法學士 岡本謹三郎	岡山	京法學士 尾上六右衛門	奈良		
東法學士 賀茂眞艾	山口	京法學士 河村一郎	山口	京法學士 黒田眞一	京都		
東法學士 相良自助	廣島	東法學士 佐田久太郎	山口	東經學士 重廣	山口		
京文學士 篠田一人	山口	京法學士 島本與喜	高知	東經學士×新谷	梁	一	山口
東法學士 岡田保次	鳥根	東法學士 瀧口吉繼	山口	京文學士 西澤靜雄	兵庫		
東文學士 野上巖	山口	京經學士 藤井米三	山口	京法學士 横打俊太	神奈川		

理科甲類

(三十一人)

京法學士 渡邊潔	岡山	京法學士 渡邊浩	岡山	東工學士 石崎飛	鳥根		
京工學士 枝村靖	山口	東理學士 笠井康一	山口	京法學士 片山廣	式	山口	
九工學士 淺海金子	四郎	京經學士 松尾協	山口	九醫學士×小林	照	明	佐賀
九工學士 白水半次郎	福岡	東農學士 鈴木謙五郎	埼玉	東農學士 武内邦次郎	廣島		
京理學士 田中穂積	山口	東文學士 田中政太	山口	九工學士 玉井周一	山口		
東工學士 豊島嘉造	山口	京法學士 土岐登	大阪	東北工學士×富次	亮	山口	
九工學士×中原忠次	岡山	九工學士 中原百合雄	山口	東文×中村秀雄	山口		
東理學士 奈倉實郎	静岡	京法學士×野澤馬三	山口	九工學士 濱地辰助	福岡		
九醫學士 松岡琢郎	山口	京工學士 松本金吾	廣島	京工學士 宮田秀介	山口		
九醫學士 村田了介	山口	東工學士×村田稔	山口	目加田光	山口		
京工學士 安本健助	山口						

理科乙類

(二十八人)

京工學士 青木保雄	東京	京醫學士 安藤省三	大阪	東醫學士 犬尾貞治	長崎
京理學士 梅田武彦	山口	京醫學士 岡鳥晋一	山口	九醫學士 岡田稔	廣島
		京醫學士 岡鳥晋一	山口		

京醫學士	尾上圭二	兵庫	東農學士	香川	勳廣島	東農學士	片岡慶二	山口	
東理學士	鍵谷正男	山口	京醫學士	篠田伏改	信一	山口	東醫學士	鈴木康	静岡
京工學士	坪井好人	山口	京醫學士	那須	眞壽夫	和歌山	京醫學士	服部貞之助	京都
京醫學士	原田良雄	山口	東工學士	平野泰一	岐阜	東農學士	小福地改	清	東京
九工學士	藤井忠二	岡山	京醫學士	前川喬彦	大阪	九工學士	牧	悌二	大分
東醫學士	增野旭	島根	九醫學士	町野碩夫	山口	九醫學士	松村	澧夫	山口
京醫學士	向井利一	廣島	九醫學士	門田正男	山口	京醫學士	柳	武夫	山口
九醫學士	山縣登	山口	醫學博士	門田正男	山口	醫學博士	柳	武夫	山口

第二一回

大正十二年三月七日卒業(百二十六人)

文科甲類

(三十六人)

東法學士	青木延一	山口	東法學士	阿部英三	大分	東經學士	糸井改	多木衛三	京都
東文學士	井原健一	山口	京經學士	上田幸登	山口	京法學士	奧田知英	愛知	
岡醫學士	大田原一祥	岡山	東法學士	福井冠太郎	大阪	京文學士	川越正雄	大阪	
×河野彌太郎	山口		京法學士	白銀運夫	廣島	京法×田中	伊之助	山口	
東法學士	玉野信一	大阪	京法學士	時森進	山口	東文學士	中村映三郎	高知	

文科乙類

(三十一人)

京法學士	長岡義雄	山口	京法學士	濱頭仁三郎	京都	京法學士	原田知介	山口
京法學士	藤川改	山口	京法學士	藤田平一郎	大阪	京經學士	前田純一	大阪
京法學士	白川慎一	山口	東法學士	松尾一夫	山口	京法學士	松田慶嗣	兵庫
東法學士	松野貞夫	山口	京法學士	松本孝義	和歌山	京經學士	的場改	兵庫
東文學士	丸井貞男	大阪	東經學士	溝部五郎	山口	東法學士	山東廣吉	和歌山
京法學士	森茂雄	廣島	京文學士	矢川德光	長崎	東法學士	三輪鷹一	山口
岡醫學士	横山秀三	島根	東法學士	吉村正信	山口	東法學士	山中貞義	大阪
東法學士×芥川道夫	愛媛		東法學士	吉村正信	山口	東法學士	若林克己	千葉
京法學士	石丸武雄	山口	東經學士	石村英雄	山口	東法學士×石田俊雄	山口	
東經學士	長田忠一	山口	東文學士	片多嗣信	大分	東法學士	入江爲芳	福岡
東法學士	北川茂	山口	東經學士	城戸久	福岡	京法學士	梶原改	福岡
東法學士	岡崎改	山口	京經學士×坂井清	大阪	東法學士	小林英十郎	山口	
東文學士	杉本	兵庫	東法學士	鈴木幹郎	青森	東法學士×重宗	山口	
東經學士	田村純一	廣島	東法學士	德地屋四郎	山口	東法學士	角英祐	山口
京法學士	中川根直一	東京	東法學士	野町礎	高知	東法學士	島谷定吉	鳥根

東文學士 檜垣 良一 山口	京 法×藤井 博一 山口	東經學士 坊垣改 忠吉 兵庫
東法學士 千々松 秀二 山口	東法學士 美間 正紀 山口	東文學士 森崎 末吉 福井
東文學士 米澤 直人 山口		

理科甲類

(三十五人)

東農學士 赤司 禮三 福岡	東農學士 池田 二郎 兵庫	東工學士 石川 春吉 宮崎
東藥學士 市川 登 山口	京工學士×市川 弘長 廣島	東工學士 出田 節雄 大分
京醫學士 内田改 武德 山口	京理學士 江田 周三 山口	東文學士 岡部 三郎 兵庫
東工學士 杉原 恒三 山口	京理學士 河村 壽 山口	京理學士 木田 祐次 大阪
東工學士 小澤 恒三 山口	東工學士 茂森 薰 廣島	岡醫學士 勝呂 學 靜岡
京理學士 木村 作治郎 大阪	東工學士 田中 憲三 大阪	醫學博士 田中 敏雄 岐阜
理學博士 筋師 正和 歌山	京理學士 田中 憲三 大阪	東藥學士×田中 敏雄 岐阜
京經學士 津田 三郎 京都	東工學士×坪井 勇 鳥根	九工學士 寺西 治夫 大阪
東北工學士 西内改 辰高 知	東工學士 二宮 達吉 愛媛	九工學士 原田 虎七 山口
九工學士 藤本 保 山口	東工學士 町田 保 山口	東工學士 三井 經光 山口
東北醫學士 森重 大作 山口	東工學士 安成 貞一 熊本	京工學士 脇永 一雄 山口
九工學士 山賀 孝造 山口	九醫學士×山中 巖 山口	京文學士 山根改 重顯 山口
東工學士 吉村 徹 山口	東農學士 兩見 正雄 鳥根	

理科乙類

(二十四人)

東農學士 大嶽 六郎 静岡	東理學士×大谷 壽雄 山口	京醫學士 河村改 正陽 山口
九醫學士 龜尾 丹一 福岡	京醫學士 窪田 愛朋 山口	九醫學士 木庭 密樹 福岡
京女學士 佐藤 全美 京都	東農學士 神力 喜幸 山口	九醫學士×田村改 福市 山口
九醫學士 西島 義一 山口	九醫學士 平田 胤春 岡山	九醫學士 岡村 誠 山口
醫學博士 松崎 寛爾 山口	京醫學士 松田 昌逸 鳥取	明法學士 松元 宣哉 山口
九醫學士×三戸 立男 山口	醫學博士 峰永 五郎 山口	岡醫學士 宮田 貞二 山口
九醫學士 宮原 通顯 山口	長醫學士×牟田 久三 長崎	九醫學士 森宮 卓之 大阪
醫學博士 矢島改 良雄 山口	醫學博士 山本 晴次 兵庫	京醫學士 和田 卓之 大阪
醫學博士 戸島 良雄 山口		

文科甲類

(四十人)

東經學士 有久 清安 山口	京經學士 生田 益太郎 德島	東經學士 泉野改 恭次 山口
東法學士 岩田 健次郎 東京	×植田 實三 三重	京法學士 戶田 秀雄 大阪
東法學士 大木 清彦 山口	東法學士 河本 喜與之 山口	京經學士 川澄 正吉 茨城
京 經×木村 眞次郎 廣島	京法學士 木村 義雄 廣島	東文學士×金 昌 雲 朝鮮

京經學士 久次米 定治 大阪	京法學士 栗山松一 兵庫	京經學士 難波改 健亮 山口
後藤元昭 廣島	京經學士 齋藤四郎 東京	京法學士 佐吉改 久芳 山口
東法學士 澤村敏衛 廣島	京文學士 柴田美稻 山口	東北法學士 關 衡平 千葉
東法學士 攝待博 岩手	京經學士 田川俊夫 長崎	京經學士 坪倉二郎 鳥根
京法學士 鶴田穆 佐賀	京法學士 能賀衛 廣島	東法學士 服部連太郎 奈良
東法學士×濱村直一 德島	東經學士 福田省三 山口	九經學士 藤田武雄 山口
東法學士 松岡武雄 山口	東法學士 松田正雄 山口	京法學士 水島信人 兵庫
京法學士 三原種雄 岐阜	京文×村重正 夫 山口	東文學士 森島恒雄 福岡
京法學士 森本義雄 高知	京經學士 山手松柏 福岡	東經學士 好川增輔 山口
京理學士 渡邊義三 廣島	京文學士 鹽見正一郎 山口	京文學士×鹽谷 鴻 山口
文科乙類 (三十人)		
京經學士 安部改 小田光雄 山口	京法學士 有馬知機 鹿兒島	京經學士 伊藤 宣 山口
京文學士 井上五七 山口	東法學士×岡本重武 鳥根	京法學士 奧永不可止 大分
東文學士×形田藤太 福岡	東文學士×鎌田卯一 山口	東法學士 木村岩藏 廣島
京經學士 久米田康兵 兵庫	京法學士 古賀忠雄 長崎	東法學士 小林一正 廣島
京法學士 篠村順二 廣島	東經學士 鹽見正一郎 山口	京文學士×鹽谷 鴻 山口

京法學士 高原資朗 岡山	京法學士 杉野改 道郎 山口	京法學士 中島 清兵衛 兵庫
東文學士 中野 皎 熊本	東經學士 長野象一 山口	東法學士 西川 功 愛媛
東文學士 丹羽昇 京都	東法學士 原田傳 山口	東法學士 平岡通俊 東京
東法學士 藤井改 和夫 山口	東法學士 藤野耕作 山口	京法學士×柳井東水 山口
東法學士 山下改 寅次 山口	東法學士 渡邊捨雄 廣島	東法學士 渡邊 保 山口
京經學士 佐伯寅次 山口	理科甲類 (三十四人)	
京理學士 伊藤改 善作 山口	京農學士 伊吹正紀 岡山	京經學士 植木高登 山口
九工學士 上升主計 山口	東文學士 湖安島根	東農學士 遠藤 傳 山口
東理學士 岡澤改 徹 山口	東工學士 小田川利喜 廣島	東農學士 河相英逸 廣島
京工學士 小寺昇 兵庫	東工學士 工藤憲資 山口	九醫學士 兒玉來三 廣島
京工學士 須内慎六 山口	東北醫學士 小林太郎 山形	京農學士 澤村東平 廣島
京經學士 武安千春 山口	京經學士 杉山二郎 山口	京經學士 田村力 山口
京經學士 中村改 晉治 山口	岡醫學士 立野清一 山口	東工學士 戶澤正一 茨城
京經學士 長沼治 山口	京經學士 長尾裕一 岡山	東工學士 原田秀夫 山口
九工學士 林真治 山口	東工學士 加藤改 六郎 山口	東北醫學士 松岡茂 山口
京醫學士 松岡秀夫 山口	東工學士 三卷一郎 山口	東北醫學士 宮本忠孝 山形

九醫學士 山根純祐 山口 九工學士 山本英道 滋賀
 九農學士 綿谷誠一 山口 九醫學士 青木猷房 福岡
 九醫學士 淺井東一 滋賀 九農學士 岩尾清兵衛 福岡
 九醫學士 井上一郎 京都 九醫學士 大田豐 山口
 九醫學士 岡崎行雄 廣島 九醫學士 加藤聖 廣島
 九工學士 柏村寬 山口 九醫學士 重村蕪 山口
 九醫學士 幸月富士昌 山口 九醫學士 竹廣勇藏 兵庫
 九醫學士 高橋卓馬 廣島 九醫學士 根本雄一郎 山口
 九醫學士 永野敏孝 千葉 九醫學士 高木秀夫 長野
 九醫學士 藤倫一 廣島 九醫學士 正木克己 大阪
 九醫學士 廣藤重雄 東京 九醫學士 井上克己 大阪
 九醫學士 堀重雄 東京 九醫學士 守田正 山口
 九醫學士 元村勳 鹿兒島 九工學士 渡邊幸三郎 山口

理科乙類 (三十人)

九醫學士 山根純祐 山口 九工學士 山本英道 滋賀
 九農學士 綿谷誠一 山口 九醫學士 青木猷房 福岡
 九醫學士 淺井東一 滋賀 九農學士 岩尾清兵衛 福岡
 九醫學士 井上一郎 京都 九醫學士 大田豐 山口
 九醫學士 岡崎行雄 廣島 九醫學士 加藤聖 廣島
 九工學士 柏村寬 山口 九醫學士 重村蕪 山口
 九醫學士 幸月富士昌 山口 九醫學士 竹廣勇藏 兵庫
 九醫學士 高橋卓馬 廣島 九醫學士 根本雄一郎 山口
 九醫學士 永野敏孝 千葉 九醫學士 高木秀夫 長野
 九醫學士 藤倫一 廣島 九醫學士 正木克己 大阪
 九醫學士 廣藤重雄 東京 九醫學士 井上克己 大阪
 九醫學士 堀重雄 東京 九醫學士 守田正 山口
 九醫學士 元村勳 鹿兒島 九工學士 渡邊幸三郎 山口

第四回

文科甲類 (三十七人)

大正十四年三月七日卒業 (百二十人)

×井上成教 山口 東文學士 岡崎虎雄 山口 東文學士 辛島 聽 福岡
 九經學士 木下琢郎 山口 九經學士 厚東誠七郎 山口 京經學士 小鷹狩幸治 廣島
 東經學士 櫻井陽一 山口 東法學士 佐藤進 廣島 東文學士 七里公章 長崎
 九經學士 柴田敏夫 山口 京法學士 白銀禮治 山口 九文學士 白根幸之 廣島
 九法學士 高橋文明 大阪 京法學士 田中禮治 山口 京經學士 妻木正次 山口
 京法學士 高橋文明 大阪 東法學士 鄭德改 朝鮮 東經學士 松永改 山口
 九法學士 鄭秀 朝鮮 東法學士 鄭民 朝鮮 東經學士 德田悳二 山口
 東法學士×時政 彌大郎 山口 京法學士 永井於菟雄 愛媛 京法學士 中塚常三郎 兵庫
 東經學士 中村正祐 山口 京法學士 中村元雄 兵庫 東經學士 永山德四郎 岡山
 京經學士 延兼數之助 山口 東法學士 萩原正雄 兵庫 京城法學士 朴永 培 朝鮮
 東法學士 藤井勝三 山口 京法學士 藤本彦太郎 山口 東法學士 古川重雄 栃木
 東法學士 間生基岡 山口 東經學士 三木文雄 神奈川 東文學士 中原改 水野弘元 佐賀
 東經學士 楊井克己 山口 東法學士 矢內駿 宮城 東法學士 山内酒喜雄 廣島
 東經學士 橫田道三 廣島

文科乙類 (二十五人)

京法學士 池田修一 山口 京法學士 石津太郎 山口 東法學士 小川誠六郎 新潟
 東文學士 大石秀典 山口 京法學士 大上良作 富山 京法學士 大谷伸次郎 滋賀

京法學士 赤木 諫夫 宮崎	京法學士 平出 健次 兵庫	京法學士 石田 常勝 兵庫
東經學士 伊藤 貞幸 山口	京經學士 今田 義六 山口	京經學士 大塚 義治 兵庫
東法學士 ×大久保 武生 長崎	京法學士 溝口 治 兵庫	京法學士 鎌田 保 鹿兒島
東法學士 小川 信雄 山口	東文士 加藤 勝秀 山口	京法學士 後藤 三郎 岐阜
九法學士 國引 登 山口	京法學士 姜 炳 鉦 朝鮮	京法學士 澤田 敬 允 廣島
京法學士 酒向 誠一 山口	東文士 佐內 巖 山口	京法學士 澤田 敬 允 廣島
京經學士 島田市 二廣島	東法學士 末武 修二 山口	京經學士 菅 實 福岡
東法學士 關口 俊太 秋田	京經學士 高橋 眞治 山口	東經學士 高畑 双吉 北海道
東法學士 津 技 惇 山口	九法學士 田村 豐 山口	京法學士 近間 利輔 山口
京法學士 長谷川 勝之 廣島	京法學士 津司 三郎 京都	京法學士 筒井 英昌 大分
京經學士 湯井 改 鍊 和歌山	京法學士 濱田 直敏 富山	東文士 三坂 圭治 山口
東法學士 山崎 文雄 山口	京經學士 村本 一男 大分	京文士 安原 基輔 山口
京法學士 李 萬英 朝鮮	京經學士 渡邊 昌平 岡山	九法學士 渡邊 千任 福岡
京法學士 重村 誠夫 山口	東法學士 石田 陽太郎 兵庫	京法學士 伊藤 正勝 山口

文科乙類

(三十八人)

京經學士 今津 正二 德島	東農學士 大上 新治郎 德島	東文士 相良 伸彦 福岡
東文士 小川 五郎 山口	京經學士 小幡 毅 山口	東文士 河岡 新兵衛 山口
東法學士 木坂 恒一 廣島	京法學士 久芳 與四郎 山口	九法學士 黃 延 富 臺灣
京經學士 小橋 秀一 岡山	京法學士 坂口 靜雄 東京	東經學士 佐々木 三五 德島
京法學士 ×七條 綱太郎 高知	京法學士 白石 鳳介 山口	東文士 曹 喜 淳 朝鮮
東經學士 高島 達夫 長崎	京經學士 ×浦 高本 改 泰夫 山口	京法學士 田中 良男 山口
京法學士 谷 弓雄 德島	東文士 中江 達夫 京都	京經學士 辰己 利治 京都
京法學士 中村 肇 山口	京經學士 山本 浩夫 山口	東法學士 西村 勉 大阪
×野上 幸治 山口	東經學士 益田 浩爾 廣島	東法學士 長谷川 清 山口
九經學士 藤田 一郎 山口	京法學士 八尾 俊吉 廣島	東文士 松 尼 要 廣島
京經學士 森村 二郎 大阪	京法學士 武內 征平 神奈川	東經學士 横山 平四郎 島根
東文士 李 孝祥 朝鮮	×和田 良夫 島根	
理科甲類 (三十三人)		
京醫學士 岩城 達 山口	東農學士 岩村 由 山口	九工學士 川上 政一 廣島
韓 澤 柱 朝鮮	千醫學士 來島 知 山口	杏 內 良雄 廣島
九醫學士 工藤 明吉 大分	東農學士 姜 琮 武 朝鮮	東工學士 齋 藤 亥三雄 德島

九醫學士	櫻井幸夫	山口	東工學士	原田三雄	山口	長醫學士	品川馨	山口
東工學士	神保右一	山口	東工學士	須内鼎五	山口	東工學士	杉正道	山口
東農學士	都逢涉	朝鮮	東農學士	富田資	愛媛	東工學士	頼野孝夫	山口
京農學士	中島康郎	岐阜	京工學士	中山勝之助	山口	千醫學士	原正博	静岡
東工學士	原太郎	山口	京工學士	榎垣勝二	山口	東北工學士	平岡精祐	山口
京工學士	弘中龍男	山口	京醫學士	深澤高正	兵庫	東工學士	船岡親雄	廣島
東農學士	堀完一	山口	京醫學士	宗盛河武	廣島	東農學士	村岡清治	山口
東北工學士	村上貫治	愛媛	東農學士	山本憲治	兵庫	東農學士	松前清彦	山口
理科乙類 (三十三人)								
九醫學士	天兒民和	兵庫	東醫學士	有田勝正	山口	千醫學士	伊藤行男	廣島
千醫學士	稻田三郎	愛知	東醫學士	遠藤虎之助	香川	東醫學士	尾中毅	山口
九醫學士	片山直彦	和歌山	東醫學士	加藤照夫	静岡	東農學士	河添勝次	山口
京醫學士	河原省平	岡山	東工學士	河村敦雄	山口	東醫學士	鎌倉正雄	岐阜
金醫學士	佐々木基	山口	長醫學士	四熊濟夫	山口	九醫學士	白神改	山口
京醫學士	菅龍正	廣島	京醫學士	田北幸平	大分	九醫學士	井尻兼三	大阪
東醫學士	武安季春	山口	九醫學士	巽太郎	京都	東農學士	田北周平	山口

第六回

昭和二年三月八日卒業(百四十八人)

文科甲類 (三十九人)

京醫學士	長井深	山口	京醫學士	松田一男	廣島	京醫學士	水谷一輝	香川
京醫學士	三宅完悅	京都	長醫學士	森脇一	山口	京醫學士	山縣貞臣	廣島
東農學士	大和寬藏	福岡	好川一彦	山口	長醫學士	吉村和人	山口	
東醫學士	吉村宗次	大阪	彌和歌山	九醫學士	李呈	奇臺灣		
文科甲類 (三十九人)								
東文學士	上村忠治	山口	東農學士	岡田友市	山口	東法學士	小澤太郎	山口
東法學士	甲斐貞信	大分	東法學士	嘉山隆	静岡	京法學士	岸本直行	福岡
京文學士	北川傳治	山口	京法學士	熊本義男	山口	東文學士	久坂恭一	岡山
東法學士	窪田利雄	山口	京法學士	三前義三	和歌山	京法學士	桑原馨	山口
東法學士	古賀英正	東京	東法學士	雜賀宗之	長崎	東法學士	齋藤五郎	山口
京農學士	祭原光太郎	大阪	東法學士	櫻井勤	山口	京農學士	佐波宣平	山口
東法學士	谷井力	山口	東法學士	都野武亮	山口	九法學士	鄭洩	雙朝鮮
東法學士	藤井誠	山口	京農學士	中谷金太郎	神奈川	京農學士	中村吉正	山口
東法學士	中島誠	山口	京法學士	林政雄	兵庫	東法學士	原田爲吉	山口
九法學士	長井賢治	山口	京法學士	林政雄	兵庫	東法學士	小田田博	資山口

東文學士 福島宗佐	山口	京文學士×藤井	一山口	東文學士 藤井英一	福岡
東法學士 法貴三郎	京都	東法學士 松村雄樹	山口	京法學士 板倉小平次	京都
東文學士 山田清	山口	京醫學士 山根東明	山口	京法學士 山本源左衛門	兵庫
東法學士 吉川俊彦	佐賀	京醫學士 吉木信	山口	京法學士 金一	錫朝鮮
文科乙類 (三十四人)					
東經學士 明石讓壽	愛媛	京法學士×天野敏彦	廣島	東北法學士 印泰	植朝鮮
近江伸雄	秋田	東北學士 緒方政德	宮崎	東經學士 太田雄天	香川
九經學士 大坪二三	福岡	京法學士 小野眞一郎	大分	京法學士 河野實	山口
京法學士 木村改	山田	京經學士 久保改	中野	東文學士 勝谷在登	山口
東法學士 末村忠夫	山口	東法學士 竹本幾雄	廣島	九文學士 田中晃	山口
京法學士 津秋午郎	山口	臺法學士 中藪昌二	鹿兒島	東法學士 田中	晃山口
東法學士 長井省吾	山口	九經學士 西川參次	兵庫	京法學士 蓮井清四郎	香川
東文學士 濱田俊平	三重	京法學士 平井平	廣島	×古川亨	佐賀
京文學士 松井武雄	山口	京文學士 前川勸夫	三重	京法學士 三田正夫	山口
九法學士 溝口俊造	佐賀	京法學士 森尾一男	山口	臺北學士 柳武雄	山口
京法學士 山本外史	愛媛	東法學士 山本武輔	山口	京經學士 山田岩太郎	山口

京法學士 林憲	平朝鮮				
理科甲類 (三十六人)					
東北文學士 粟屋保	山口	九醫學士 飯田廉一	山口	京工學士 市橋善博改	鳥取
名醫學士 伊藤實	山口	東農學士 今井久男	東京	九工學士 井森勇	廣島
東農學士 江山正美	山口	九工學士 兼重信雄	山口	東農學士 大町篤	廣島
北農學士 大村清之助	福岡	東北理學士 河本改	森元義郎	山口	京理學士 蒲生和郷
東工學士 木村壽一	山口	東工學士 桑原基介	山口	九工學士 古賀清藏	福岡
京工學士 佐世雅樂	山口	京理學士 佐藤三郎	山口	京工學士 杉江直己	石川
長醫學士 高城喜會	福岡	東農學士 高橋晉吾	東京	京文學士 高井貞橋	東京
東農學士 永井駿	廣島	京農學士 長谷川一郎	兵庫	九工學士 林雅樹	山口
東農學士 林	廣島	原田謹一	山口	京工學士 藤村建次	山口
東工學士 星野陽一	東京	京農學士 堀政胤	奈良	工學博士 藤原仙祐	山口
東工學士 森井	山口	東農學士 森本政	鳳	東工學士 松原仙	山口
東農學士 吉田改	山口	東工學士×吉村勝治	東京	東農學士 山田一良	山口
東農學士 金光	山口	東工學士×吉村勝	治	東農學士 渡邊駿	東京
理科乙類 (三十九人)					
金醫學士 青木文作	神奈川	九醫學士 井倉改	田淵	昭	廣島
九醫學士 田淵	昭	廣島	長	醫×池田	靖
九醫學士 田淵	昭	廣島	長	醫×池田	靖

九醫學士	岡村英夫	岡醫學士	今屋改	一誠	滋賀	京醫學士	遠藤勇三	廣島
九醫學士	岡村英夫	滿醫學士	緒方維弘	大分	京醫學士	河村祐義	東京	
九醫學士	岡村英夫	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	
九醫學士	岡村英夫	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	
九醫學士	岡村英夫	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	
九醫學士	岡村英夫	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	
九醫學士	岡村英夫	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	
九醫學士	岡村英夫	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	
九醫學士	岡村英夫	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	
九醫學士	岡村英夫	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	九醫學士	

第七回

文科甲類 (四十一人)

東經學士 淺海諒介 山口 京法學士 姉川從義 長崎 東法學士 石尾英文 長崎

東文學士	岩城次郎	佐賀	京經學士	小川忠夫	香川	小原公助	山口	
京文學士	大島政輔	山口	東文學士	新造節三	山口	東經學士	木村重義	長崎
東法學士	河野春吉	愛媛	京法學士	合田龜香川	京法學士	佐々木義一	廣島	
東文學士	崔瑠	宇朝鮮	京法學士	正司宰諫	兵庫	京法學士	瀧本惠助	長崎
京法學士	高田千秋	山口	京文學士	高津龜久太郎	山口	東法學士	田中誠	山口
東經學士	中村章次	山口	東經學士	永美幸雄	鳥取	京法學士	永見眞人	山口
東文學士	野村和男	山口	東法學士	藤澤九三	山口	東經學士	花村仁八郎	福岡
東農學士	橋本成之	東京	京文×弘	三喜男	山口	東法學士	福家進	香川
京法學士	古谷轟	山口	京法學士	松浦兼三郎	山口	東文學士	松岡滿夫	山口
京法學士	村井滿太郎	大阪	京法學士	山縣良雄	山口	京法學士	山根吉男	山口
東經學士	山内忠吉	鹿兒島	京法學士	吉田覺	廣島	京文學士	吉田三郎	山口
京法學士	金基	朝鮮	京法學士×崔亨	元朝鮮				
東法學士	安藤國富	大分	九法文學士	石川皓一	山口	京經學士	倉光改	山口
京法學士	片山一夫	山口	川口四郎	山口	京法學士	金虎	羽朝鮮	鳥取

文科乙類 (三十六人)

第七回昭和三年卒業生

京法學士 栗原 靜	京經學士 古賀 兵造	京法學士×近藤 正長
東文學士 河内山 豐	京法學士×齊藤 尊定	東文學士×坂本 計介
東文學士 櫻木 昇	京經學士 榎木 晴行	京法學士 篠永 恭一
東經學士 住友 尚平	京經學士 瀧口 改三郎	京法學士 田中 達男
東經學士 立 武雄	東法學士 田中 堯平	京法學士 谷 光次
京 經×田 信男	東法學士×津野 幸一	藤堂 恭一
東文學士 新田 義夫	東法學士 春山 國生	京文學士 平田 六郎
京法學士 松村 實	東法學士 光田 善孝	京法學士 宮前 碩雄
東法學士 村岡 元晴	京法學士 村上 盤根	東文學士 森住 利直
東法學士 山本 繁一	京文學士 李 英淳	九農學士 林家 齊
理科甲類 (三十七人)		
長醫學士 青柳 太郎	京工學士 足立 斌	東農學士 阿部 達夫
京工學士 石井 文雄	京 醫×石川 虎雄	九法文學士 岡田 丈夫
京 經×岡村 春二	九工學士 小川 正男	長醫學士 大塚 格
東工學士 河邊 芳太郎	東北工學士 吉和 元資	東工學士 叶屋 復雄
京經學士 韓 芝	東北工學士 木下 勇次	東工學士 熊谷 良一

東工業學士 栗山 寬	東北理學士 嶋田 一男	京工學士 重富 三
東工業學士 竹田 元彦	東北工學士×高尾 延彦	京工學士 谷野 昇
九工學士 田中 兼武	九工學士 田村 雄	東工學士 ×豐島 政雄
京工學士 戶山 信芳	東農學士 德久 一雄	東工學士 中安 信丸
東藥學士 中原 榮三	東農學士 中本 正	東北工學士 西村 文男
東工學士 ×花岡 實昌	京經學士 花輪 五郎	東醫學士 細井 千代馬
東工學士 三浦 裕	九農學士 宮本 左門	矢岡 次雄
京農學士 黃 翰	理科乙類 (三十五人)	
京 醫×淺海 一郎	京醫學士 阿部 猛	東北醫學士 伊藤 改三
北農學士 伊藤 薰次郎	長醫學士 岩本 茂樹	京醫學士 介吹 令二
九工學士 上田 光雄	九醫學士 上田 義人	九醫學士 影山 民治
九醫學士 神波 改道	京醫學士 上月 貞藏	東醫學士 小島 政
九農學士 佐々木 章	東農學士 末兼 敏男	長醫學士 齊藤 正
長醫學士 竹川 洋	九醫學士 田邊 芳郎	九經學士 澄川 準
九醫學士 爲近 武夫	東北理學士 長坂 亨三	九醫學士 宅野 閣
醫學博士 爲近 武夫	東北理學士 長坂 亨三	九醫學士 中村 徹

九工學士	中司 敏夫	福岡	京醫學士	夏目 英雄	愛知	九醫學士	原 茂良	山口
長醫學士	藤本改 孝憲	山口	京農學士	藤田 久	兵庫	長醫學士	藤本 光盛	山口
京醫學士	正木 平藏	兵庫	長醫學士	宮城 容中	福岡	醫學博士	藤本 光盛	山口
東理學士	守田 榮山	山口	九醫學士	山口 義登	山口	東工學士	吉川 善勝	東京
熊醫學士	吉田 讓亮	山口	梁 淳	朝鮮				

第八回

昭和四年三月七日卒業(百三十三人)

文科甲類

(三十八人)

東法學士	阿部 久雄	福岡	九法學士	有美 邊	島根	東法學士×井	上 準	廣島
東經學士	市原 茂樹	山口	京文學士	大庭 千尋	山口	京經學士	大久保 忠誠	山口
東經學士	奧村 光雄	石川	九法文學士	片山 勤	廣島	京經學士	加藤改 弘	山口
京法學士	久保 護男	山口	東法學士	倉橋 美紀	山口	東法學士	神崎 好道	福岡
京法學士	重安改 茂	岐阜	京法學士	城市 安成	島根	京經學士	末益改 平	井
京法學士	竹田 政一	山口	東經學士	竹原 莊一	大阪	京經學士	高木 武政	島根
京法學士	谷口 義弘	京都	東經學士	茶谷 茂	山口	京經學士	土屋 俊彦	兵庫
京法學士	豐田 全輔	山口	京法學士	富川 三朗	山口	京文學士	中村 隆	兵庫

文科乙類

(三十四人)

東法學士	中川 薰	山口	東文學士	中村 光	福岡	京法學士	平河 一夫	愛媛
京法學士	中村 宏策	山口	東法學士	松井 憲太郎	山口	東文學士×丸	山 政義	兵庫
京法學士	南谷 知孝	岐阜	京法學士	三崎 正男	廣島	京法學士	宮原 柳一	山口
京經學士	村田改 長	山口	京文學士	矢野 健治	山口	京經學士	吉村 一夫	愛媛
京法學士	李 九	朝鮮	京法學士	李 東華	朝鮮			
京經學士	石丸 廣美	福岡	京法學士	牛尾 義輔	福岡	京法學士	奥村 孝	廣島
京經學士	岸本 孝二	山口	東法學士	久具 勇雄	熊本	京法學士	久芳 昌	山口
京法學士	栗原改 本	東京	京法學士×玄	基 水	朝鮮	京法學士	近藤 富士雄	静岡
京法學士	佐野 廣	島根	京法學士	鹽谷 蕪夫	山口	京法學士	皮田 明肆	廣島
東法學士	瀧口 重義	廣島	東經學士	竹内 源之進	東京	東法學士	内藤 文質	山口
東法×中	島 哲次郎	山口	京法學士	中村 一雄	山口	京法學士	長井 繁	山口
難波 勝一郎	島根		東文學士	西田 太郎	山口	京文學士	野村改 篤彦	山口
難波 敬一	大阪		東文學士	東 常夫	和歌山	東法學士	藤本 勇丸	山口
京文學士	奥尾 友次	大阪	京法學士	榎 運	山口	東法學士	藤本 勇丸	山口
京文學士×松	三浦改 永	山口	東法學士	啓治改 三田村	山口	京法學士	丸山 一郎	兵庫
東法學士	松永 鴻	山口	京文學士	三田村 泰助	福岡	東經學士	明賀 章	廣島

東法學士 山口 治男 宮崎
羅 英 伯 朝鮮

山中貞次 大阪

東法學士 吉田 義雄 山口

理科甲類 (三十二人)

京農學士	有野 康彦 京都	京工學士	磯野 博 兵庫	東農學士	石戸 有一 東京
長醫學士	伊豆川 芳郎 廣島	京工學士	岡野 重雄 兵庫	東農學士	小倉 素忠 廣島
京理學士	金 精 沫 朝鮮	東工學士	倉辻 實俊 東京	東北工學士	黒川 恒勝 山口
滿醫學士	近藤 敏男 福井	京農學士	佐伯 駒雄 香川	東理學士	下瀬 恒人 山口
九醫學士	杉野 理之輔 山口	東工學士	鈴木 隆 靜岡	高橋 貞松 東京	
九文學士	角田 文雄 兵庫	東農學士	高橋 衍 大分	九工學士	德富 茂 山口
九工學士	繩田 四郎 山口	東藥學士	中島 慶一 福井	京農學士	長野 宏義 熊本
東工學士	西山 太喜夫 岡山	京工學士	野口 英二 奈良	東工學士	服部 一朗 山口
京理學士	平野 四十男 福岡	東工學士	藤井 光雄 東京	東工學士	福田 泰太郎 山口
京工學士	三隅 紀八郎 山口	東農學士	宮内 武雄 山口	東工學士	山崎 健二 和歌山
京城醫學士	李 周 朝鮮	東農學士	金 南 洙 朝鮮	新醫學士	內山 長之 靜岡

理科乙類 (二十九人)

京理學士	相島 敏之 佐賀	大工學士	上山 基明 鳥取
------	----------	------	----------

京理學士	岡田 正助 山口	東農學士	小倉 利八 和歌山	長醫學士	小尾 勳 東京
九醫學士	片山 茂 山口	京理學士	勝野 靖美 山口	滿醫學士	梶山 英代司 東京
東農學士	神邊 隆之助 香川	九醫學士	谷達 生 山口	九醫學士	香川 朝男 福岡
大醫學士	久保 覺 山口	東農學士	田村 一雄 山口	九法學士	田中 省三 鹿兒島
京醫學士	夏目 探 愛知	九醫學士	中村 武雄 山口	東醫學士	長野 猪佐久 山口
九醫學士	中村 元 越前 山口	東醫學士	長井 靖夫 山口	京文學士	原 勁四郎 岩手
九法學士	東 武雄 山口	九農學士	藤井 治人 山口	九法學士	藤村 滋 山口
九工學士	松村 恭二 山口	長醫學士	光波 淳爾 廣島	東工業學士	村田 健 山口
長醫學士	山中 禎次郎 佐賀	京法學士	陳 泮 根 朝鮮		

第九回

昭和五年三月七日卒業 (百五十三人)

文科甲類 (四十二人)

東法學士	足立 正忠 愛知	京法學士	飯塚 英郎 大分	東經學士	井上 侃司 山口
京文學士	宇都宮 誠之 山口	九法學士	岡田 令男 山口	東經學士	小野 茂 大分
京法學士	岡田 利夫 京都	東經學士	橋本 馨 福岡	京法學士	神崎 巖 福岡
東文學士	金 相 泳 朝鮮	京法學士	小池 誠 山口	京法學士	高野 正義 廣島

東法學士 佐々木 恒一 愛媛	東法學士 澤本 保治 兵庫	東法學士 高田 徳文 兵庫	東法學士 田中 美輝夫 岡山	東法學士 時政 大八郎 山口	東法學士 碓 正夫 山口	東法學士 福田 秀夫 山口	東法學士 松田 道夫 鳥取	東法學士 向井 悠 山口	東法學士 山根 實 山口	東法學士 石津 純道 茨城	東法學士 江副 學長崎	東法學士 木村 武彦 山口	東法學士 後藤 五男 大分	東法學士 隅田 整明 廣島	東法學士 鈴木 鴻一郎 静岡	東法學士 高橋 嘉六 徳島	東法學士 常松 幸事 鳥根	東法學士 中村 正紀 山口	東法學士 一ツ石 二男 山口	東法學士 藤本 實 山口	東法學士 岩野 敬治 山口	東法學士 矢田部 正道 山口	東法學士 山口 興一 兵庫	東法學士 石原 則之 熊本	東法學士 金次 博 宮崎	東法學士 桐島 隆吉 廣島	東法學士 定近 伸夫 山口	東法學士 高橋 直輔 山口	東法學士 稻葉 四郎 兵庫	東法學士 村岡 勇 鳥根	東法學士 倉田 康夫 廣島	東法學士 座間味 朝永 沖繩	東法學士 竹田 喜代治 山口	東法學士 金大 煥 朝鮮	東法學士 山口 吉太郎 大阪	東法學士 本田 利明 熊本	東法學士 布浦 芳郎 山口	東法學士 西野 俊夫 兵庫	東法學士 寺野 大吉 廣島	東法學士 武安 鐵男 山口	東法學士 高榎 久市 福岡	東法學士 深 壽次 山口
----------------	---------------	---------------	----------------	----------------	--------------	---------------	---------------	--------------	--------------	---------------	-------------	---------------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	----------------	--------------	---------------	----------------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------------	---------------	----------------	----------------	--------------	----------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------------

文科乙類 (三十二人)

京法學士 武安 素彦 山口	京法學士 豊田 次郎 神奈川	京法學士 新田改 彰二 山口	京法學士 尾畑 晴雄 兵庫	京法學士 肥後崎 晴雄 兵庫	京法學士 宮内 信美 鹿兒島	京法學士 宮内 信美 鹿兒島	京法學士 吉田 信照 福岡	京法學士 渥美 茂雄 静岡	京法學士 近江 静雄 秋田	京法學士 金子 美雄 山口	京法學士 本利 彦 山口	京法學士 川本 昇 山口	京法學士 小松 文彦 茨城	京法學士 江中改 芳郎 山口	京法學士 江木 芳郎 山口	京法學士 富永 眞 山口	京法學士 根津 健次郎 東京	東經學士 田村 喜久治 山口	東經學士 中村 更甫 山口	東經學士 長谷川 正 山口	東經學士 藤原 徳一 鳥根	東經學士 藤原 徳一 鳥根	東經學士 宮田 勝己 鳥根	東經學士 孫萬 枝 臺灣	東工學士 安西 秀夫 大分	東工學士 小野 義直 山口	東工學士 上田 判夫 福岡	東工學士 神田 千代一 山口	東工學士 幸島 隆造 福岡	東工學士 齋藤 榮一 山口	東工學士 立山 清祐 宮崎	東工學士 西 一郎 東京	東工學士 野坂 賢次 山口	東工學士 飯尾 昌克 大阪	東工學士 石野 芳二 山口	東工學士 岡部 順一 山口	東工學士 鬼武 信夫 山口	東工學士 小早川 智義 廣島	東工學士 重盛 五六 長野	東工學士 津田 次郎 山口	東工學士 西村 定重 兵庫	東工學士 林 洋一 山口	東工學士 飯尾 昌克 大阪	東工學士 石野 芳二 山口	東工學士 岡部 順一 山口	東工學士 鬼武 信夫 山口	東工學士 小早川 智義 廣島	東工學士 重盛 五六 長野	東工學士 津田 次郎 山口	東工學士 西村 定重 兵庫	東工學士 林 洋一 山口	東工學士 飯尾 昌克 大阪	東工學士 石野 芳二 山口	東工學士 岡部 順一 山口	東工學士 鬼武 信夫 山口	東工學士 小早川 智義 廣島	東工學士 重盛 五六 長野	東工學士 津田 次郎 山口	東工學士 西村 定重 兵庫	東工學士 林 洋一 山口
---------------	----------------	----------------	---------------	----------------	----------------	----------------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------------	--------------	---------------	----------------	---------------	--------------	----------------	----------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	--------------

理科甲類 (四十一人)

京工學士 平岡 欽吾 熊本	九工學士 平井 挺治 長崎	東農學士 福田 英夫 山口
京工學士 古川 武彦 佐賀	東理學士 松浦 義雄 山口	京理學士 眞野 孝義 山口
東工學士 御園生 晃 山口	九工學士 宮内 健一 山口	九工 宮田 實 山口
九醫學士 村上 對福 岡	東工學士 吉津 丈夫 山口	東北工學士 岡本 正三 山口
東北理學士 林 克 濟 朝鮮	東經學士×朴 英 出 朝鮮	
理科乙類 (三十八人)		
長醫學士 赤川 次郎 山口	千醫學士 荒川 清 栃木	九醫學士 井上 正雄 山口
九醫學士 今村 富士男 佐賀	岡醫學士 大田 可也 山口	九農學士 岡崎 温夫 山口
九醫學士 小尾 健三 東京	九醫學士 奥川 忠利 廣島	九醫學士 大谷 重夫 香川
京醫學士 蒲島 敏郎 熊本	東北理學士 河本 俊平 山口	名醫學士 蒲島 敏雄 熊本
九醫學士 北垣 敏二 鳥根	九工學士 國弘 三郎 山口	東醫學士 桑原 悟 廣島
岡醫學士 小橋 成 岡山	長醫學士 小島 斌 佐賀	岡醫學士 佐藤 義信 山口
長醫學士 四熊 克己 山口	岡醫學士 高井 茂生 山口	九醫學士 田中 隆寬 山口
金醫學士×武田 義比古 兵庫	京農學士 中村 悅策 鳥根	千醫學士 田中 貞雄 靜岡
長醫學士 野原 信夫 山口	新醫學士 原 保郎 山口	東農學士 林 修 山口
岡醫學士 倉重 晋 山口	九醫學士 廣瀬 實 山口	東農學士 松本 通夫 廣島

第十回

昭和六年三月七日卒業(一四七人)

文科甲類

(四十一人)

九農學士 松浦 良夫 鳥根	東北理學士 益子 歸來也 茨城	岡醫學士 六車 清茂 香川
長醫學士 棟久 一夫 山口	千醫學士 元村 馨 鹿兒島	新醫學士 渡邊 政三 埼玉
九醫學士 渡會 浩 愛知	京農學士 朴勝 萬 朝鮮	
京經學士 足立 四郎 山口	廣文學士 安部 初雄 山口	京法學士 足立 康 愛知
東文×石橋 透 關 鳥根	東法學士 井上 二郎 廣島	東法學士 板野 學 岡山
東經學士 井上 政治 大分	小田 實 三重	織戶 爲之 東京
京法學士 小栗 盛之 山口	京法學士 金澤 數男 山口	東經學士 木村 勇 山口
京法學士 洪植 龍 京城	京經學士 五島 直人 山口	京法學士 坂本 仁三 大阪
京法學士 鈴木改 龍 京城	京經學士 高根 萬次 山口	京法學士 田村 英治 山口
京法學士 橫田 儔 山口	京法學士 田寺 博雄 鳥取	京文×高石 綱 長崎
京法學士 高橋 明 茨城	京法學士 原田 聖 山口	京法學士 林 忠之 山口
東文學士 中村 義人 山口	京法學士 原田 聖 山口	京法學士 藤岡 忠 山口
京經學士 原田 浩 山口	京文學士 弘津 徹也 山口	京法學士 藤岡 忠 山口
京法學士 松藤 武一郎 福岡	京法學士 松井 稔 山口	東文學士×松村 俊男 山口

東文學士 水田 巖 山口	京法學士×御菌生 文夫 山口	京法學士 湊 鐵心 長崎
東文學士×美澄 政博 山口	京法學士 守屋 鐵治 岡山	東法學士 目黒 太郎 東京
東法學士 守屋 博 岡山	吉村 喜司男 山口	東法學士 横田 一雄 福岡
東文學士 吉村 宮雄 山口	東法學士 渡邊 良穗 山口	
文科乙類 (二十八人)		
東法學士 石田 正藏 山口	東經學士 伊藤 盛吉 山口	東法學士 大田 越 山口
京法學士 奥谷 武夫 兵庫	京經學士 岡倉 伯士 福井	東文學士 大庭 三郎 山口
東法學士 片岡 眞一 兵庫	東文學士 川口 劉二 山口	東法學士 桑野 保則 福岡
東法學士 佐々木 秋生 山口	東法學士 杉 憲次 山口	京法學士 瀬尾 勝夫 鹿兒島
京經學士 田中 薰 兵庫	京法學士 高橋 幹男 愛媛	京法學士 津田 泰藏 京都
東文學士×筒井 仁 三重	京法×鳥野 孝 山口	東經學士 野原 信郎 山口
東文學士 小室 定彦 島根	京經學士 長谷川 浩 廣島	京法學士 服部 宏 山口
東法學士 弘津 恭輔 山口	東經學士 松浦 藤三郎 山口	京經學士 山本 均 山口
京法學士 八木 邦夫 廣島	東經學士 山本 務本 神奈川	京法學士 矢田部 敏正 山口
京法學士×吉田 五郎 京都		
理科甲類 (四十人)		

×秋元 孝 山口	九醫學士 伊藤 博 山口	東工業學士 岩谷 信逸 山口
×伊藤 恒夫 山口	東工學士 今富 政平 山口	東工學士 上田 四郎 山口
京工學士 上符 哲男 山口	神商學士 加賀山 四郎 山口	九醫學士 木村 登 宮城
京工學士 木原 正彦 山口	東農學士 木梨 武二 山口	京工學士 兒玉 温 山口
九工學士 坂田 靜雄 廣島	東理學士 下瀬 育郎 山口	東北理學士 白木 不二雄 山口
大工學士 杉 一夫 山口	東理學士 末永 勝二 山口	東工×田邊 雅輔 山口
東農學士 高木 政信 長崎	京經學士 團 久壽男 兵庫	高瀬 定雄 兵庫
東農學士 辻永 勝明 山口	東工學士 津崎 五八夫 熊本	大工學士 富岡 彰夫 大阪
×德吉 元利 山口	九工學士 中島 忠輔 山口	九工學士 西村 武夫 山口
東農學士 西田 司一 廣島	熊醫學士 晴木 富士郎 島根	京理學士 藤田 二郎 山口
東農學士 松本 忠 香川	京工學士 松田 富彌 三重	東工學士 益田 亮 山口
東農學士 松垣 光 大分	日工學士 益田 重華 山口	東農學士 道中 久 山口
東工學士 山田 英夫 山口	東理學士 吉武 素二 山口	羅英 兆 朝鮮
京工學士 鷺尾 洋治 新潟		
理科乙類 (三十八人)		
九醫學士 今吉 武雄 大分	京醫學士 井廻 熊次郎 島根	東醫學士 伊藤 正雄 石川

長醫學士 井上陽治 山口	九醫學士 尾中正 春 山口	東農學士 大草秋 島根
九醫學士 堅山磐 廣島	東北理學士 笠井章 香川	長醫學士 龜谷了 岐阜
新醫學士 加藤英治 東京	九醫學士 木原由紀人 廣島	京城醫學士 嚴文鉉 慶尚南道
長醫學士 笹川義郎 山口	佐藤武四郎 千葉	×佐々木二郎 廣島
×杉野德寬 宮崎	長醫學士 高村弘毅 神奈川	九醫學士 田原昭 大分
岡醫學士 武居繁彦 山口	長醫學士 藤田北改 弘毅 神奈川	九醫學士 塚越英一 埼玉
長醫學士 中山改 繁彦 山口	長醫學士 藤田北改 弘毅 神奈川	長醫學士 塚越英一 埼玉
長醫學士 小島增吉 兵庫	長醫學士 野中改 盛重 鹿兒島	長醫學士 根石二誠 廣島
東農學士 野村嘉成 宮崎	九醫學士 岡山小吉 三重	九醫學士 林繁樹 山口
京農學士 関泳 全羅南道	大醫學士 藤井秀亮 山口	金醫學士 福田禮之 埼玉
松永豊 山口	九醫學士 松村謙三 山口	九醫學士 三瀬一三 愛媛
九醫學士 森重忠 山口	岡醫學士 山末一雄 山口	山田利英 島根
九農學士×湯面竹男 山口	京醫學士 吉田和之 山口	

第十一回

昭和七年八月八日卒業(一三七人)

文科甲類

(三十三人)

京經學士 麻生茂樹 福岡
 東法學士 青木義人 山口
 京法學士 安藤滿壽雄 愛知

京法學士×池田壯平 香川	東文學士 井上誠之助 山口	東經學士 新井隆 東京
京文×上田從政 山口	京文學士 岡潔 山口	京經學士 岡田實男 兵庫
京法學士 上月三二 兵庫	東法學士 楠原保三 大阪	京法學士 梶山正一 山口
京法學士 櫻田定次 京都	東文學士 佐波文成 山口	柴田正雄 福岡
東文學士 清水輝雄 山口	京法學士 白戸義斌 大阪	新庄宗俊 京都
東法學士 杉中正 山口	東文學士 杉山清太郎 山口	京法 鈴木周二 靜岡
竹内勇愛知	東文學士 千田九一 山口	京法學士 永井愨夫 廣島
東經學士 沼田卓郎 秋田	京法學士 原田芳介 山口	東法學士 福田清一郎 奈良
東文學士 藤田一郎 山口	京法學士 藤本正徳 山口	京法學士 水野榮 山口
東北法學士 三矢夏井 東京	東法學士 横田正雄 福岡	九經學士 渡邊信正 山口
文科乙類 (四十人)		
京法學士 荒木尙 廣島	九法文 安部博 山口	東信文 兵庫
京文學士 今井啓介 山口	東北法學士 今泉端 兵庫	九法學士 内丸恭一 福岡
京法學士 屋宜宗眞 沖繩	河野太郎 山口	東經學士 河村秀二 山口
東法學士 北村兼六 石川	京經學士 金鍾律 朝鮮	京法學士 小島渡次 山口
東經學士 齋藤宣城 島根	京法學士 笹本晴明 茨城	京法學士 佐伯臺司 廣島

東北法文×佐野慶雅	兵庫	京經學士	姜聖	朝鮮	京文學士	薄田	桂岡山
京文學士釋野紀稔	山口	京文學士	高村孝治	山口	京經學士	瀧口元光	山口
京經學士田島直人	山口	東文學士	依永谷改	重秋鹿兒島	東文學士	德田改	萬喜多
京文學士內藤晃	静岡	京法學士	石井節次	山口	京經學士	林吉郎	山口
東法學士弘中浩	山口	東法學士	堀越久良	群馬	東文學士×前田武夫	山口	山口
京法學士益田秀高	熊本	東法學士	松浦秀夫	島根	京法學士	松原藏	山口
東經學士宗岡哲郎	山口	東經學士	村田實夫	山口	京經學士	森川義政	山口
京文學士森田武躬	福岡	京法學士	山木戶克己	山口	京文學士	横田俊一	埼玉
京法學士吉永正	山口						
理科甲類 (三十人)							
東農學士池上武夫	山口	東工業學士	稻田芳郎	廣島	東農學士	井上弘幸	山口
東工業學士稻田猪德	廣島	東農學士	今川正彦	山口	大理學士	大嶋勝	山口
東文大西寬	東京	大工學士	勝木彌壽男	大阪	京工學士	久保田敬一	新潟
京工學士黒田麟八郎	佐賀	東農學士	小林新藏	山口	京工學士	西郷英雄	山口
東工學士佐々木正男	山口	東北理學士	田野邊親人	鹿兒島	京理學士	德久正敏	山口
京工學士鳥屋尾積	島根	大工學士	中島正夫	山口	九工學士	奈良富夫	神奈川

京農學士西村昌造	山口	東農學士	榎垣四郎	山口	大工學士	平山九郎	大阪
九醫學士藤井舜輔	山口	東北工學士	松崎敏彦	大分	東農學士	三龜幸雄	山口
東理學士三好哲也	山口	京理學士	森田榮太郎	香川	東農學士	守永喜男	山口
京工學士山本和信	千葉	京農學士	山野壽雄	山口	東北理學士	山本宗一	廣島
理科乙類 (三十四人)							
九經學士赤星健兒	福岡	京理學士	飯島衛	東京	九醫學士	岩崎禎二	福岡
熊醫學士梅原精太郎	滋賀	東北理學士	浦上太郎	山口	東醫學士	江副勉	長崎
九醫學士岡崎正夫	山口	長醫學士	大村康文	東京	九醫	清水壽夫	山口
岡醫學士黒坪正喜	福岡	九法學士	金相鳳	朝鮮	熊醫學士	謝水生	臺灣
岡醫學士椎木惺二	山口	京工學士	白木恒夫	山口	九農學士	谷達雄	兵庫
岡醫學士末永邦忠	山口	東醫學士	曾田改	山口	東醫學士	中山誠	山口
九醫學士知念榮昌	沖繩	京農學士	德本孝彦	山口	岡醫學士	二宮俊爾	山口
岡醫	中村治世	九醫學士	成富房美	福岡	京文學士×原	淳太郎	山口
九工學士根來幸次郎	山口	熊醫學士	伯野慎治	山口	九醫學士	藤野博	兵庫
原田祥治	山口	平田長司	靜岡		大理學士	山本武夫	山口
千醫學士峰永六郎	山口	東農學士	保田岐己	山口			